

第二部

單元・題材配列表〈試案〉



単元・題材配列一覧表作成の基本方針

- ・ 学習指導要領では、国語科の学習領域は、小学校から中学・高校まで全ての段階において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」[言語事項]と定められ、その中で段階的・系統的な目標が示されている。
- ・ こうした段階性・系統性を前提としながら、本校国語部では、一貫教育に取り組むにあたって、各学習領域を相互に結びつけ、より一貫的な日本語の学習を実現するため、〈言語文化〉と〈コミュニケーション〉という二つの軸を設定し、全ての学習の基盤となる国語学力の育成をめざす。
- ・ 〈言語文化〉は、学習者が文化財としての言語文化を内化することを軸とするものである。読書力や音読力、日本語やことばに対する意識を高める学習を内容とする。
- ・ 〈コミュニケーション〉は、音声言語および文字言語による学習者相互の伝え合いを軸とするものである。独話・対話・話し合い、目的遂行的な文章表現を内容とする。
- ・ 二つの軸におけることばの学習は、年齢や学年に応じた言語レベルや内容を考慮しながらも、ことばの原理的な側面については、繰り返し学習し習熟することを重視する。

学校区分	学 年	単 元 ・ 題 材 等 配 列 一 覧	
小学校 目標 国語を適切に表現し 正確に理解する能力 を育成し、伝え合う 力を高めるとともに、 思考力や想像力 及び言語感覚を養 い、国語に対する関 心を深め国語を尊重 する態度を育てる。		言 語 文 化	コミュニケーション
	第 1 学 年	単元「本と ともだちに なるう」 題材「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 ねらい 今までに読んだ本の中で好 きな本を友達に紹介することができる。	単元「ことばって、おもしろいな」 題材「おみせやさんごっこを しよう」 ねらい 客と店の人になって、ものの名前 を言い合いながら売り買いのやり取りをする ことができる。 単元「わたしは、なんでしょう」 ねらい 当ててほしいものの特徴を、聞き 手に分かりやすくクイズにして話すことがで きる。友だちの話の大事なことを落とさない ように聞くことができる。
	第 2 学 年	単元「本と 友だちに なるう」 題材「スイミー」 ねらい 図書室でおもしろそうな本 を探して読み、友達に紹介することが できる。	単元「友だちに分かるように 話そう」 題材「あったらいいな、こんなもの」 ねらい 自分が考えたものについて、事柄の 順序を考えながら聞き手に分かるように話す ことができる。友だちの話の大事なことを落 とさないように聞くことができる。 単元「何に見えるかな」 ねらい 「何に見える」「なぜ、そう見える」 という話題に沿って話し合うことができる。
第 3 学 年	単元「本と友だちになろう」 題材「本は友だち／本のさがし方」 ねらい 読み手に本のおもしろさが伝 わるように書く必要のある事柄を収集 したり選択したりして、本の帯を作る ことができる。	単元「進んで話し合い、発表しよう」 題材「『分類』ということ／インタビュー」 ねらい 身のまわりで「分類されているもの」 を見つけ、分類のしかたやその意味について、 聞き手によく分かるように筋道を立てて話 す。話の中心に気をつけて聞くことができる。 単元「名前をつけよう」 ねらい 互いの考えの相違点や共通点をから、 合意点を見つけてようとして進んで話し合うこ とができる。	

第4学年	単元「本と友達になろう」 題材「本は友達／本のさがし方」 ねらい クラスの「おすすめの本」カード集を作るために、伝えたいことを考えながら読むことができる。	単元「調べて発表しよう」 題材「『伝え合う』ということ」 ねらい クラスの友達に自分の考えが分かるように筋道を立てて話すことができる。話の中心に気をつけて聞くことができる。
第5学年	単元「読書の世界を広げよう」 題材「本は友達」 ねらい 読書会の目的にしたがい、選んだ本について効果的な読み方の工夫をする。	単元「伝え合って考えよう」 題材「人と『もの』とのつき合い方」 ねらい 自分と「もの」とのつきあい方について調べた内容や感想が、クラスの友達に分かりやすく伝わるように、組み立てを工夫して話す。発表者の考えと自分の考えとを照らし合わせながら聞く。
第6学年	単元「読書の世界を広げよう」 題材「本は友達」 ねらい クラスの友達に薦めたい本の魅力を、キャッチコピーをつくるなど紹介のしかたを工夫して発表する。	単元「共に考えるために伝えよう」 題材「みんなで生きる町」 ねらい 調べたことについての話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練りあげることができる。

- 留意事項
- ・ 第3学年までは、特にコミュニケーション領域では、言葉の概念の発達や説明の仕方などを題材としたものを柱として扱うことによって、言葉の発育を一貫して促していきたい。
 - ・ 高学年では、中学校におけるコミュニケーション領域での学習活動への発展を意識した単元を柱として扱う。

学校区分	学年	単元・題材等配列一覧	
中学校 目標 国語を適切に表現し 正確に理解する能力 を育成し、伝え合う 力を高めるとともに、 思考力や想像力を 養い言語感覚を豊 かにし、国語に対す る認識を深め国語を		言語文化	コミュニケーション
	第1学年	帯単元 「言葉と私」 題材（指導項目） 詩を群読する。 ねらい 言葉の響きを楽しみながら音読できる。	単元 「科学への目」 題材（指導項目） 「人の呼び方を考える。」 （話し合い） ねらい 話し合いの方向をとらえて的確に話し合いができる。
	第2学年	帯単元「わたしのおすすめの商品」	単元 「命との対話」

尊重する態度を育てる。	年	題材（指導項目） 読書紹介。 ねらい おすすめの作品を朗読して紹介できる。	題材（指導項目） 「学級新聞を考える」 （ディベート） ねらい 一つの論題のよい点と問題点の両面を考えることができる。
	第3学年	単元 「かけがえのない一冊」 題材（指導項目） 読書紹介 ねらい 自分にとっての大切な一冊を見つけ紹介できる。	単元 「現代を問う」 題材（指導項目） 「容器を考える」 （パネルディスカッション） ねらい 論理的な展開や表現の工夫に注意して話したり聞いたりすることができる。

＜題材配列一覧作成上の基本方針＞

- 11年間を通して、社会的な思考・判断，知識・理解に裏付けられた「社会的な見方・考え方を育む」という視点を重視する。
- 小・中学校の社会科学習においては，小・中学校，及び高等学校の社会科学の学習内容を概観し，学習内容において同内容の学習のつながりをどう考えるか，地域学習における地域の扱いについてどう取り上げるかといったことについて配慮しながら，単元配列や学習内容を工夫する。
- 系統的な社会科学の学習を実現するため，小学校3年から中学3年までの7年間の領域を，地理的分野，歴史的分野，公民的分野で構成する。それに併せて，小学校生活科においても3領域で配列する。幼稚園については，3領域に分けず総合的に配列する。
- 社会的な見方・考え方の基礎を育成するために，幼稚園での活動や小学校低学年生活科の授業に，社会生活を実感する活動や，小・中学校社会科の内容に関わる社会体験，見学・観察の場を意図的，計画的に設定する。

学校区分		幼・小・中における 題材配列一覧		
幼稚園	学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
【人間関係ねらい】 ①幼稚園生活を楽しく，自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②進んで身近な人とのかかわり，愛情や信頼感をもつ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。 【環境ねらい】 ④身近な環境に自分からかかわり，発見を楽しんだり，考えたりし，それを生活に取り入れようとする。	3歳児	○先生や友だちに親しむ。 ①・先生と心のつながりを持ち，安定感をもってあそぶ。 ②・友だちと一緒にあそぶことを楽しむ。 ・自分の気持ちを素直に出したり，友だちの気持ちに気づいたりする。 ・幼稚園内のいろいろな教職員に親しみをもつ。 ・身の回りの片付けを自分でしようとする。 ③・友だちの周りの人に対してはいけないことがあることに気づく。 環・家庭や地域での経験を，ごっこ遊びなどで再現する（おうちごっこ，レストランごっこなど）。 ・季節の行事的な活動に参加して楽しむ。		
	4歳児	○友だちとかかわりながら活動する楽しさを味わう。 ①・自分に自信を持ち，自力で活動しようとする。 ②・友だちとかかわりを広げ，親しみや共感をもって遊ぶ。 ・トラブルがあったとき，友だちの気持ちを受け止めようとする。 ・幼稚園内のいろいろな教職員に親しみ，また，その仕事内容に関心をもつ。 ③・友だちや周りの人に対してしたり言ったりしてはいけないことがあることに気づく。 ・自分たちが気持ちよく生活するために，遊んだあと，友だちと整頓・片付けをする。 環・家庭や身近な地域での経験を，ごっこ遊びなどで再現する（おうちごっこ，お店ごっこ，乗り物ごっこなど）。 ・道路の安全に歩き方を知る。 ・季節の行事的な活動に興味をもって参加する。		
	5歳児	○友だちと協力して活動する気持ちをもつ。 ①・年長児としての自覚をもって行動する。 ②・仲間意識をもち，友だちとめあてを共有して活動する。 ・いろいろな友だちを呼び込んだり，受け入れたりする。 ・トラブルがあったとき，自分たちで問題解決しようとする。 ・自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもち，その仕事内容や自分とのかかわりに興味や関心をもつ。 ③・人に対してしたり言ったりしてはいけないことがあることに気づき，自分で判断し，行動しようとする。 ・ルールを守って遊ぶ。 ・自分たちが気持ちよく生活するために，園全体に目を向けて，片付けをしたりゴミの分別をしたりする。 環・身近な地域での経験を生かして，いろいろな遊びをする（秋まつりの活動，お店ごっこの看板やチケット，お金づくりなど）。 ・園外保育で地域の施設や働く人に関心を寄せる。 ・道路を安全に歩こうとする。 ・季節の行事の意味に関心をもって活動に参加する。		
小学校生活科	学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
目標 具体的な活動や体験を通して，自分と身近な人々，社会及び自然とのかかわりに関心を持ち，自分自身や自分の生活について考えさせるとともに，その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ，自立への基礎を養う。	第1学年	○ともだちいっぱいつくるんだ ・みんなでいこう ・じぶんでたんけん ・いってみようやってみよう ・そとにいこうよ		
	第2学年	○どきどきわくわくまちたんけん ・わたしのまちをたんけんしよう	○あしたへジャンプ ・あしたへジャンプ	○わたしのまち大すき ・もっとまちの人となかよくなる う ・みんなでつくるうフェスティバル

＜留意事項＞

※幼年期（幼稚園，小学校低学年）においては，人間関係を構築していく活動や，学校や学校の周りの地域に出かけて周りの様子を探索する活動を中心に展開していく。

小学校社会科	学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
目標 社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	第3学年	1 わたしたちの住んでいる松江 (1) 学校のまわり (2) 松江市のようす 2 松江市でものを売る人・つくりだす人 (1) 私たちの暮らしをささえるお店 (2) 私たちの暮らしと宍道湖 (3) 見つめてみよう ぼたんの花を		3 安全を守る (1) 火事からくらしを守る (2) 交通事故をふせぐ
	第4学年	6 わたしたちの島根県 (1) 島根県ってどんな県？ (2) わたしたちが住むし・町・村の位置は？ (3) 島根県の土地の様子は？ (4) 島根県でさかんな産業は？ (5) 島根県の交通の様子は？ (6) 県内の特色ある地域	5 松江のうつりかわりと先人のほたらき (1) 昔の松江ヘレッツ・ゴー (2) れきしまップをつくらう (3) ふるさと松江のために ・清原太兵衛さん ・周藤弥兵衛さん	4 健康なぐらしを守る (1) ごみのしまつと利用 (2) くらしをささえる水
	第5学年	○食べ物ふるさとさがし 1 わたしたちの生活と食料生産 (1) 米づくりのさかんな庄内平野 (2) 水産業のさかんな枕崎市 (3) これからの食料生産とわたしたち 2 わたしたちの生活と工業生産 (1) 自動車をつくる工業 (2) 工業生産と工業地域 (3) 工業生産と貿易 4 わたしたちの国土と環境 (1) さまざまな自然なとくらし (2) わたしたちの生活と環境 (3) わたしたちの生活と森林		3 わたしたちの生活と情報 (1) 放送局の働き (2) 情報と社会

<留意事項>

※地理的分野で取り上げる地域、歴史的分野で取り上げる人物について、中学校との連携の中で可能な限り同地域、同人物を取り上げるよう単元構成を行い、学習の進化・発展が図られるよう工夫する。
 ※とくに、3・4年生の学習においては地域学習という点を踏まえ、さらに、生活科での学習の経験を生かすために、社会体験・見学・観察の機会を意図的に単元に組み込んでいく。
 ※自分たちの住む地域や島根県の学習において、地域の地図を描く学習や地図を読みとる学習を計画的に配置し、空間認識の基礎を培う。
 ※私たちの国土と環境の学習において、世界地図や地球儀を活用しながら学習を進め、中学校地理的分野「世界と日本の地域構成」の学習につなげるための基礎的な世界認識や日本の国土のおおまかな様子についてはつかめるようにする。

	学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
	第6学年	3 世界の中の日本 ○宇宙から地球を見る (1) 日本と関係の深い国々 (2) 世界の平和と日本の役割	1 日本の歴史 ○わたしたちの地域 れきしらリーマップ (1) 米づくりのむらから古墳のくにへ (2) 聖武天皇と奈良の大仏 (3) 源頼朝と鎌倉幕府 (4) 3人の武将と全国統一 (5) 徳川家光と江戸幕府 (6) 江戸の文化をつくりあげた人々 (7) 明治維新をつくりあげた人々 (8) 世界に歩み出した日本 (9) 長く続いた戦争と人々のくらし (10) 新しい日本、平和な日本へ	2 わたしたちの生活と政治 ○まちの公共ウォッチング (1) わたしたちの願いを実現する政治 (2) 私たちのくらしと日本国憲法
中学校社会	学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
目標 広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資	第1学年	オリエンテーション 世界と日本の地域構成 1. 世界の地域構成 (1) 世界の国々の構成と地域区分 (2) 地球儀と世界地図を使って調べてみよう	オリエンテーション 歴史の流れ 1. おもしろ歴史発見 2. 身近な歴史を調べてみよう 古代までの日本 1. 人類の発生と文明の発生へ	

<p>料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p>	<p>2. 日本の地域構成 (1) 日本の位置と領域 (2) 都道府県の構成と地域区分</p> <p>地域の規模に応じた調査 1. 身近な地域の調査</p> <p>2. 都道府県の調査 (1) さまざまな地域から成り立つ都道府県の調査～島根県を例に～ (2) 全国的な視野からみた都道府県の調査～東京都を例に～</p>	<p>2. 東アジアの中の「倭」 3. 天皇・貴族が中心となった政治と文化</p> <p>中世の日本 1. 武家の世のはじまり 2. 海に開かれた時代 3. いまにつながる生活・文化</p> <p>近世の日本 1. 戦乱から天下統一へ 2. 幕府の体制と東アジア 3. 天下泰平の世の中 4. かわる社会と諸対策</p> <p>地域の歴史Ⅰ 1. 清原太兵衛（小学校の学習の振り返り） 2. 松江藩の藩政改革</p>	
<p>第2学年</p>	<p>3. 世界の国の調査 (1) 国家の三要素から学ぶ国の調査～オーストラリアを例に～ (2) 日本との関わりから学ぶ近隣国の調査～韓国を例に～</p> <p>世界と比べてみた日本 1. さまざまな面からとらえた日本 (1) 自然環境から見た日本の地域的特色 (2) 人口から見た日本の地域的特色 (3) 生活・文化からみ日本の地域的特色 (4) 地域間の結びつきから見た日本の地域的特色 (5) 資源や産業からみた日本の地域的特色 2. さまざまな特色を関連づけてみた日本</p>	<p>近現代の日本① 1. 欧米諸国の衝撃と日本 2. 新しい価値観のもとで 3. 国会開設のあゆみ 4. アジアの日本から世界の日本へ</p> <p>近現代の日本② 1. 世界情勢と大正デモクラシー 2. 日本がアジアで行った戦争</p> <p>地域の歴史Ⅱ 1. 松江から満州に渡った少年たち</p> <p>現代の日本 1. 戦後日本の成長と国際関係 2. これからの日本と世界</p>	
<p>第3学年</p>			<p>オリエンテーション 現代社会と私たちの生活 1. 現代日本の歩みと私たちの生活 2. 個人と社会生活</p> <p>国民生活と経済 1. 私たちの生活と経済 2. 国民生活と福祉</p> <p>国民生活と政治 1. 人権の尊重と日本国憲法の基本原則 2. 民主政治と政治参加</p> <p>地球市民として生きる 1. 世界平和の実現を目指して 2. 地球環境の危機的状況に対して</p>

<留意事項>

- ※地理的分野の出会い単元においては、おもに小学校3～5年の学習で培った地理的な知識・技能をもとに、世界地図や地球儀を活用しながら、地理的分野の学習に対する興味・関心を喚起できるように工夫する。
- ※歴史的分野の出会い単元においては、おもに小学校6年の学習で培った歴史的な知識・技能をもとに、年表や史料を活用しながら、歴史的分野の学習に対する興味・関心を喚起できるように工夫する。
- ※地理的分野の「島根県の調査」の学習においては、小学校4年生での島根県の学習を基礎としながら、小学校では扱わない地域の変化の背景や地域区分について言及し、都道府県規模の地域の特徴をとらえるための学び方について学習できるようにする。
- ※地理的分野の「韓国の調査」の学習は小学校6年の「世界の中の日本」との学習や韓国との交流学习との関連を図り、世界の国規模の地域的特色をとらえるための方法を身につけると共に、近隣国として、これからのよりよい日韓関係のあり方についても言及する。
- ※公民的分野の学習においては、小学校6年生の「私たちの生活と政治」の単元で学んだ日本国憲法の基本原則を基礎とし、これからの日本の政治や政治参加のあり方について考えを深めていくために、より具体的な事例をもとに考え、判断していけるよう学習展開や教材を工夫する。

算数・数学・環境(かず, かたち)

〈題材配列一覧作成上の基本方針〉

- 一貫教育の中で子どもの発達段階に応じた算数・数学の培うべき力とは何かを明確にし、確かな学力を培う。
- 実用性や生活性を基盤とする算数の学習と、学問性・教養性をその基盤とする数学の学習を比較検討しながら、接続の方法についての理論的な考察と実践を行う。
- 具体的な場面での活動を通して理解することを重視し、算数・数学の美しさ、奥深さを実感させるとともに、算数・数学が世界の中で果たす役割を見つけ、理解する力を培う。
- 子どもの遊びや学びからの「生活知」「経験知」と、算数・数学の学習活動をうまく連結させながら、「数学感覚」を豊かにしていけるようなカリキュラムを構築する。
- 問題解決における数学的な見方や考え方を培い、より発展的で展開性のある数学的な概念を子どもが自ら形成していけるような多面的な思考力、判断力、そして表現力の向上を図る。

学区分	幼・小・中における 題材配列一覧				
幼稚園	○ 幼稚園においては、日常生活の中で幼児自身の必要感に基づく数量・形にかかわる体験を大切にする。また、数量・形に関する興味や関心、感覚には個人差が大きいことに配慮していく。				
環境 ねらい	＜3歳児＞ ○ 身近な環境に目を向け、かかわって遊ぶ。				
	・教師や友だちとのかかわりの中で数や数の呼び方に親しむ。	・土や水、いろいろな素材などで遊ぶ中で、「大きい」「重い」「長い」などを感じる経験をする。	・遊具や用具など身近なものにいろいろな形があることに気づいたり興味をもったりする。		
	＜4歳児＞ ○ 身近な環境に興味をもってかかわり、数量や形に関心をもって遊ぶ。				
	・教師や友だちとのかかわりの中で数や数字に親しむ。 ・興味のあるものを数えたり、必要感を感じたとき、数えたり比べたりする	・いろいろな遊びの中で、より大きく（あるいは長く、高くなど）することを楽しむ経験をする。	・積み木や空き箱などのいろいろな形を組み合わせ遊んだり、身近なもの形を描いたりする。		
	＜5歳児＞ ○ 身近な環境にかかわって考えたり試したりし、数量や形を利用して遊ぶ。また、数量や形にかかわって言葉で表現しようとする。				
で、身近な事象を見たり、物の性質や数量、数字、文字に対する感覚を豊かにする中	・教師や友だちとのかかわりの中で物と1対1対応させて数える経験をする。 ※1 ・日常生活の中で必要に応じて、数えたり比べたり、集めたり分けたりする活動をする。 ・個数や回数が多くなることをめあてにする遊びをする。 (カルタ、なわとびなど) ・同じ人数が集まる遊びをする。 (リレーなど)	・興味をもったり必要感を感じたとき、身近なものの量を比べる経験をする。 ・「大きい(小さい)」「長い(短い)」「高い(低い)」など、場面や内容にふさわしい言葉で表そうとする。 ・時計の数字をめあてに活動を始めたり終えたりする経験をする。	・身近なものの形の特徴をとらえ、「丸い」「四角」「三角」など言葉で表す。 ・折り紙や紙ひこうきの遊びの中で、「半分に折る」「左右同じ形にする」などの経験をする。 ・「前」「後」「上」「下」の言葉で方向や位置を表す。		
小学校	学年	数と計算	量と測定	図形	数量関係
	小学1年	○かずとすうじ(1~10) ○なんばんめ(順序数と集合数)※2 実際に並んで数える活動から、順序数と集合数を具体物と対応させていく。 ○いくつといくつ 数える活動において、常に具体的な物と一対一対応させながらいくつあるのか表現させる。 ○あわせていくつ、ふえるといくつ ○のこりはいくつ、ちがいはいくつ ○10よりおおきいかず(11~20) ○3つのかずのけいさん ○たしざん(1位数)+(1位数) ○ひきざん(2位数)-(1位数) ○大きいかず(100まで)	○ながさくらべ※2 ・任意単位による長さの測定 身の回りにあるいろいろなものを実際に比べる活動から任意単位の必要性を感じさせる。	○いろいろなかたち ・箱などによる形づくり ・形の弁別 ※2 身の回りにあるいろいろな形に気付かせながら活動を行う。 ○かたちをうつして ・立体の面を写す絵描き※4 「ひっくり返しても同じ形」という言葉を全体へ広げる。	

小学2年	<p>○たし算とひき算 (2位数) ± (1位数) の暗算 (何十・何十何) ± (何十) の暗算</p> <p>○たし算とひき算のひっ算 (1) ・(2位数) ± (2位数) の筆算</p> <p>○1000までの数 ※2 実際に具体物を数える活動から、量感を意識しながら理解をさせる。</p> <p>○たし算とひき算のひっ算 (2) ・(2位数) + (2位数) ・(3位数) - (2位数)</p> <p>○かけ算 ・1~9の段の構成と九九</p> <p>○10000までの数</p>	<p>○時計</p> <p>○長さ ・長さの意味と測定 ・直線の作図</p> <p>○100cmをこえる長さ ・mを用いた長さの測定</p>	<p>○形づくり ・色板や棒による形の構成 ※4</p> <p>「ひっくり返したり回したりしても同じ形」という言葉を全体へ広げる。 ・点つなぎによる形の構成</p> <p>○三角形と四角形 ・三角形、四角形の意味と弁別 ※2</p> <p>実際に三角形や四角形の模型に触れながらその特徴に気付かせる。</p>	<p>○ひょう・グラフ ・表とグラフのかき方</p>
------	---	--	--	--------------------------------

〈留意事項〉

- ※1 5歳児においては、小学校入学後の算数の学習につながる体験を意識して取り組む。
- ※2 小学校低学年においては、単に小学校への早期適応を図るのではなく、体験的な活動を行い、幼稚園の生活を意識した取り組みを展開する。□の中は特にこのことを意識した内容を記している。

学年	数と計算	量と測定	図形	数量関係
小学3年	<p>○九九の表とかげ算</p> <p>○わり算</p> <p>○何百のたし算とひき算</p> <p>○たし算とひき算の筆算 ・3けたの加法、減法の筆算</p> <p>○計算のじゅんじょ(乗法の結合法則)</p> <p>○1けたをかけるかけ算の筆算</p> <p>○一万をこえる数</p> <p>○計算のきまり ・分配法則</p> <p>○2けたをかけるかけ算の筆算</p> <p>○そろばん</p>	<p>○時こくと時間</p> <p>○かさ ・かさの意味と測定</p> <p>○長い長さ ・1mをこえる長さの測定</p> <p>○14重さ ・重さの意味と測定</p>	<p>○長方形と正方形 ・直角、長方形、正方形、直角三角形の意味と作図 ※4</p> <p>敷き詰め活動よりいろいろな方向から見るよさを感じさせる。</p> <p>○はこの形 ・箱の面の写し取りと形作り</p>	<p>○表とグラフ ・資料の分類と整理 ・棒グラフの表し方</p>
小学4年	<p>○答えが何十、何百になるわり算</p> <p>○1けたでわるわり算の筆算</p> <p>○一億をこえる数</p> <p>○小数 ・小数の意味と加減計算</p> <p>○式と計算のじゅんじょ ・() を含む式と四則混合計算の計算の順序</p> <p>○およその数</p> <p>○何十でわるわり算</p> <p>○2けたでわるわり算の筆算</p> <p>○分数 ※3</p> <p>たし算やひき算へとつながる合わせるといくつになるのか、取り除いたらいくつになるのか考える活動を行う。</p>	<p>○角とその大きさ ・三角定規の角と簡単な角度の計算</p> <p>○面積 ・面積の意味 ・長方形と正方形の面積の求め方 ・長方形や正方形の複合図形の面積の求め方</p>	<p>○円と球 ・円の意味と作図 ・球の概念と性質</p> <p>○角とその大きさ ・角や角度の意味と作図</p> <p>○三角形 ・三角形の定義と分類 ・二等辺三角形と正三角形の定義と作図 ※4</p> <p>敷き詰め活動よりいろいろな方向から見るよさを感じさせる。</p>	<p>○折れ線グラフ ・折れ線グラフの表し方</p> <p>○調べ方と整理の仕方 ・2つの観点による資料の整理と問題解決</p> <p>○変わり方 ・伴って変わる2つの量の関係</p>
小学5年	<p>○小数(1/1000の位まで)</p> <p>○整数の見方(偶数と奇数)</p> <p>○小数×整数・小数÷整数</p>	<p>○三角形・四角形の角</p>	<p>○垂直・平行と四角形 ・垂直、平行の関</p>	<p>○変わり方のきまり ・少ない場合か</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○小数×小数・小数÷小数 ○式と計算 <ul style="list-style-type: none"> ・結合法則，交換法則，分配法則 ○計算の見積もり <ul style="list-style-type: none"> ・和や差の見積もりのよさ ○分数 ※3 <ul style="list-style-type: none"> ・同分母分数の加減計算 ・分数の意味と整数，小数との関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>数直線や線分図を元にして考える活動を基盤に置き，割合や単位量あたりの大きさへとつなげる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○面積 <ul style="list-style-type: none"> ・三角形，平行四辺形，台形，ひし形の面積の求め方 ○円周と円の面積 <ul style="list-style-type: none"> ・円の面積の求め方 	<ul style="list-style-type: none"> 係と作図 <ul style="list-style-type: none"> ・台形，平行四辺形，ひし形，対角線の意味と作図※4 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>対角線を引くことで，左右の形に関心をもたせる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ら順に調べて ○割合 ※3 <ul style="list-style-type: none"> ・割合，百分率の意味とその活用 ・帯グラフ，円グラフのよみ方とかき方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>数直線や線分図上で元となる1あたりの量に着目した活動を重視する。</p> </div>
小学6年	<ul style="list-style-type: none"> ○倍数と約数 ○分数のたし算とひき算 <ul style="list-style-type: none"> ・約分と通分の意味とその仕方 ・異分母分数の加減計算 ○計算の見積もり <ul style="list-style-type: none"> ・積や商の見積もりのよさ ○分数×整数・分数÷整数 <ul style="list-style-type: none"> ・分数の乗除の意味と計算の仕方 ○分数×分数・分数÷分数 ※3 <ul style="list-style-type: none"> ・乗数，除数の意味とその活用 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>中学校の文字式に関わる文章題を提示し，それを逆思考により問題解決したり，□を用いて解いたりする活動を行い，文字式への抵抗感を少なくする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○体積 <ul style="list-style-type: none"> ・体積の概念とその表し方 ・直方体と立方体の体積の求め方 ・複合立体の体積の求め方 ○およその形と大きさ <ul style="list-style-type: none"> ・面積や体積の概測 	<ul style="list-style-type: none"> ○立体 <ul style="list-style-type: none"> ・直方体や立方体の概念と展開図 ・面や辺の平行，垂直関係※4 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>模型を実際に作る活動を取り入れ，立体図形に関する豊かな見方を育てる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○平均とその利用 ○単位量あたりの大きさ <ul style="list-style-type: none"> ・速さの概念とその活用 ○変わり方のきまりをみつけて ○比例 ○比とその利用 ○割合を使って <ul style="list-style-type: none"> ・全体を1として部分の割合を考える

〈留意事項〉

- ※3 小4で最初に出会う分数のつまづきから，中学校以降に及ぼす問題点の分析を行い，4年生から6年生までの分数の内容や系統の再構築を行う。
- ※4 中学校で行う図形の論証指導のポイントは，図形を性質からとらえられることを前提として行うことである。そこで，小学校から，「図形を特定の性質で分類する活動」を十分に行う必要がある。そこでは，図形の様々な性質の包摂関係や演繹の関係に気付く活動が大切であり，様々な視点の上で分類できることが重要である。そこで，図形のもつ性質を探るための《対称性》については必要不可欠ととらえ，その見方を育てていく。

	学年	数と式	図形	数量関係
中学校	中学1年	1章 正の数・負の数 ○正の数・負の数 ※1 ○正の数・負の数の計算 ・加法と減法 ・乗法と除法 2章 文字の式 ○文字を使った式 ※2 ○文字式の計算 3章 方程式 ○方程式 ○方程式の利用 ※3	5章 平面図形 ○直線図形と対称 ○基本の作図 ○円とおうぎ形 6章 空間図形 ○立体と空間図形 ○立体の表面積と体積	4章 比例と反比例 ○比例 ○反比例 ○比例，反比例の利用 ※5 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「比例定数」と「単位量」との相応性に注目し，具体的事象から学習を進めていく。</p> </div>
	中学2年	1章 式の計算 ○式の計算 ・式の加法，減法 ・単項式の乗法，除法	4章 図形の調べ方 ○平行と合同 ○証明	3章 一次関数 ○一次関数とグラフ ○一次関数と方程式 ○一次関数の利用

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知りそれらを進んで活用する態度を育てる。

<p>○文字式の利用</p> <p>2章 連立方程式</p> <p>○連立方程式</p> <p>○連立方程式の利用 ※3</p>	<p>5章 図形の性質と証明 (※4)</p> <p>○三角形</p> <p>○四角形</p> <p>○円</p>	<p>6章 確率</p> <p>○確率の意味</p> <p>○場合の数と確率 ※7</p>
<p>中学3年</p> <p>1章 式の展開と因数分解</p> <p>○多項式の計算</p> <p>・式の乗法, 除法</p> <p>・乗法の公式</p> <p>○因数分解</p> <p>・素因数分解</p> <p>・因数分解</p> <p>○式の計算の利用</p> <p>2章 平方根</p> <p>○平方根</p> <p>・平方根</p> <p>・平方根の値</p> <p>○根号を含む式の計算</p> <p>3章 二次方程式</p> <p>○二次方程式</p> <p>・二次方程式とその解法</p> <p>・二次方程式と因数分解</p> <p>○二次方程式の利用 ※3</p>	<p>5章 図形と相似</p> <p>○図形と相似</p> <p>○平行線と線分の比</p> <p>・平行線と線分の比</p> <p>・中点連結定理</p> <p>6章 三平方の定理</p> <p>○三平方の定理</p> <p>○三平方の定理の利用</p>	<p>4章 関数 $y = ax^2$</p> <p>○関数とグラフ</p> <p>○関数 $y = ax^2$ の値の変化</p> <p>○関数 $y = ax^2$ の利用</p>

確率では余事象として扱う内容についても学習し、現実世界の多くの興味深い出来事から数学の有用性を感じさせていく。

小学校からの関数領域全体を見通して、必要に応じて、発展的な内容を加味しながら、日常生活で与えられた情報を読み取り、それを適切に判断することができる力を伸ばせるような学習を取り入れる。

三平方の定理では、小3の三角形の決定条件～中2の三角形の合同条件、そして高校で学習する余弦定理までを視野に入れ、学びの連続性や発展性を視点に内容構成を行う。

二次方程式で、完全平方型の解法は一次方程式の解法との一貫性から、高校の内容(解の公式)に移行した一般的な解法との体系的な理解ができるところなので大切に指導する。

〈留意事項〉

- ※1 「数の集合と四則計算」が高校に移行したことをふまえて、負の数の必要性や意義と正の数・負の数の意味理解に留意する。また、負の数の導入に伴い、特に乗法の意味の獲得・形成については丁寧に指導する。
- ※2 用途の違いによる文字の扱い方をきちんと指導することで、算数との接続をなめらかにすると共に、3年間数学の指導全体を通して文字に親しみがわくようにしていくように配慮する。
- ※3 方程式の問題解決において、《文章から文字式を用いて立式する力》と《文字式から具体的な文章題を作成する力》の双方向の力を育成することが読解力の向上につながる。小学校における文章題の指導を充実させるとともに同一問題を中学校で扱うなどの連携・評価から、力を伸ばしていきたい。
- ※4 図形については、具体物→形→性質→関係(図形の性質を相互に関連づけて考察)→論理(証明)の学習プロセスを重視する。小学校での「図形を特定の性質で分類する活動」をうまく引き継ぎ、図形のさまざまな性質の包摂関係や演繹的關係を勘案していく活動を大切に、図形を性質から捉えられる力を伸ばす。
- ※5 小学校の比例の定義《n倍ならばn倍》を中学校では、 $y = ax$ から導かれる性質となることを理解させ、「比例の見方から事象を捉える力」を培うことを重視する。また、比例の学習のねらいの中に、「小数・分数の乗除」の意味理解を深めるという視点を取り入れ体系的な理解を促すことにより、事象を数理的にとらえる力を伸ばしていきたい。

理科・環境

＜題材配列一覧作成上の基本方針＞

- 11年間を通して、科学的な気づき、知識・理解に裏付けられた「科学的に表現する力を育む」という視点を重視する。
- 系統的な理科の学習を実現するため、小学校3年から中学3年までの7年間の領域を、1分野（「エネルギー」、「物質」）、2分野（「生命」、「地球」）で構成する。それに併せて、幼稚園、小学校生活科においても4領域で配列する。
- 小・中学校の理科学習においては、小・中学校、及び高等学校の理科の学習内容を概観し、学習内容系統上、前段階の学校種において発展的な内容として取り扱えるもの（☆）、取り扱う方が望ましいもの（☆）について、学びの連続性や学年の発達段階に配慮しながら、カリキュラムに意図的・計画的に取り入れ、系統的且つスパイラルな単元配列を工夫する。これにより、事実認識や現象把握にとどまらず、その原因や関連性を類推し、解釈したり、説明したりする活動を通して、より深く内容を理解できるようにする。
- 幼年期（幼稚園、小学校低学年生活科）においては、豊かな自然に触れ、親しみ、主体的に探究する活動を中心に展開する。
- 科学的な見方や考え方の基礎を育成するために、幼稚園での活動や小学校低学年生活科の授業に、自然の不思議さやおもしろさを実感する活動や、小・中学校理科の内容に関わる自然体験、原体験の場を意図的、計画的に設定する。

学校区分		幼・小・中における 題材配列一覧				
幼稚園	学年	エネルギー	物質	生命	地球	
＊環境 ＜目標＞ 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 ＜ねらい＞ (1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。	3歳児	＊身近な環境（自然・物・生き物）に直接触れてみることで、それぞれの感触や心地よさを感じ楽しむ。 ＊いろいろな環境（友だち・自然・場所）に目が向くようになり、関わって遊ぼうとする。				
	4歳児	○いろいろな材料や自然物を見つけ、遊びの内容に応じて利用して遊ぶ		○園庭の草花や身近な生き物に親しむ遊び ○木の実、落ち葉を見つけたり、使って遊んだりする	○築山のどろんこで遊ぶ ○水を使って遊ぶ ○冬の自然と遊ぶ（雪、氷など）	
	5歳児	＊身近な環境（自然・物・生き物）に興味を持って関わり、感触や特性の違いに気づいていく。 ＊身近な自然の環境の変化に興味を持ち、関心を深める。 ＊いろいろな材料や自然物を見つけ、遊びの内容に応じて利用して遊ぶ。	○秋の自然物で作って遊ぶ（ドングリゴマ、紙に貼るなど） ○風と遊ぶ（紙飛行機、凧） ○こま遊び	○自然物で作って遊ぶ（色水作りなど）	○いろいろな草花を見つけたり、集めたりする ○いろいろな生き物を見つかけたり、採集したりする ○秋の自然物を見つけて遊ぶ ○植物を育てる（ヒマワリ）	○砂、泥、水に親しんで遊ぶ ○冬の自然に親しんで遊ぶ（雪、氷、つららなど） ○風と遊ぶ（紙飛行機、凧）
(2) 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	5歳児	＊身近な環境（自然・物・生き物）に関わって、考えたり、試したりする中で、その性質に気づき、生かして遊ぼうとする。 ＊動植物の成長の様子に興味を持って観たり、世話をしたりする。	○秋の自然物を利用して、遊ぶ（ドングリゴマ、落ち葉、木の実など） ○風と遊ぶ（紙飛行機、凧） ○作って遊ぶ（廃材を利用した船など） ○こま遊び	○秋の自然物を利用して、遊ぶ（色水作りなど）	○春の自然の環境に親しみ、草花を集めたり、作ったりして遊ぶ ○身近な生き物を見つけたら、調べたり、飼ったりする ○動物を観察したり、育てる（ウサギ） ○植物を観察したり、育て収穫する。（サツマイモなど） ○秋の自然物を利用して、遊ぶ	○砂、泥、水を利用して、ダイナミックな遊びを作る（水迷路作り、海つくり、団子レース） ○いろいろな土や石の特徴に気づき、集める ○冬の自然に親しんで遊ぶ（雪、氷、つららなど）

＜留意事項＞

- ＊幼稚園5歳児では、身近な自然への直接体験を通して、主体的に探求する意欲、態度を養えるように生活を構想する。
- ＊記載した題材は、活動例であり、すべての活動を必ず行うものではない。

☆は発展的な内容（前段階の校園種において発展的な内容として取り扱えるもの、取り扱う方が望ましいもの）。

□の単元名は、異校園種で重複するもの、学習内容系統上学習する学年間が大きく開いているもの等、配慮を要する単元。

小学校生活科	学年	エネルギー	物質	生命	地球
<目標> 具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。	<学年目標> (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。 (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。				
	第1学年	○つくって あそぼう (かざぐるま、やじるべえ、こま、たこ(ゴム、風))	○いろいろをつくろう	○たねまきをしよう ○はなをそだてよう ○いきものとなかよしになるう ○くさばなであそぼう ○あきとあそぼう ○むしとあそぼう ○たねとりをしよう ○ふゆとあそぼう	○いしあつめ ○ふゆとあそぼう
第2学年			○やさいを そだてよう ○生きものランドをつくらう ○やさいのとり入れをしよう		

<留意事項> ※記載した題材・単元名は、活動例であり、すべての活動を必ず行うものではない。

小学校理科	学年	エネルギー	物質	生命	地球
<目標> 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。	第3学年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 8 明かりをつけよう 9 じしゃくにつけよう ●つくってあそぼう </div>		●しぜんたんけんをしよう 1 植物をそだてよう 2 チョウをそだてよう ☆よう虫のからだをくわしくしらべよう 3 植物のからだをしらべよう ☆いろいろな植物のからだのつくり 4 こん虫をしらべよう ☆こん虫でない虫／どこにかくれているのかな 5 花と実をしらべよう	6 日なたと日かげをくらべよう 7 光を当てよう ☆いろいろなものに日光を当ててみよう
	第4学年	7 もののかさと力 ☆空気や水を引いたときのかさの変化調べ 8 もののかさと温度 ☆水のかさが変わると重さが変わるか調べる 11 もののあたたまりかた ☆いろいろなコップのあたたまりかた調べ	9 水のすがたとゆくえ ☆自然のなかの水のすがた ☆いろいろな場所の水の蒸発調べ／霜づくり	1 あたたくになると ☆サクラなどの木のようにすを調べよう 3 暑くなると ☆あたたかさによる樹木などの変化調べ ☆春から夏の植物や動物のくらし 6 すずしくなると ☆あたたかさによる樹木などの変化調べ	4 月の動き ☆月のもよう／☆月の表面の観察 ●夏の星 ☆北極星さがし／星座や星の物語調べ 5 星の動き ☆星の1日の動き ●冬の星 ☆星座や星の物語調べ ※1

<留意事項>

※1 小4での月・星の学習と中3の天体の学習が学年間が大きく開いており、天動説から地動説へ見方や考え方の変容が、授業を介しておらず、個々に委ねられている。そのため、中3において地動説への認識の変容が確認されないまま学習を行うことになる。これを補うために、小学校6年で「学習のまとめ」の時間を設定し、スムーズな見方や考え方の変換ができるようにする。

☆は発展的な内容（前段階の校園種において発展的な内容として取り扱えるもの、取り扱う方が望ましいもの）。

□の単元名は、異校園種で重複するもの、学習内容系統上学習する学年間が大きく開いているもの等、配慮を要する単元。

			10 寒くなると ☆あたたかさによる樹木な どの変化調べ	
			12 生き物の1年をふりか えって ☆あたたかさによる樹木な どの変化調べ	
第5 学年	7 てこのはたらき ☆輪じく／もの重さとか さ ☆第二種・第三種のでこ調 べ／カくらべ（輪じく） ／バットを用いたてんび んづくり／同じかさのも の重さくらべ	8 ものどけかた ☆水にとけた食塩をとり出 してみよう／ミヨウバン の結晶づくり	2 植物の発芽と成長 調べ ☆発芽の条件（日光）調べ	1 天気と気温の変化 ☆1日の気温の変化と太陽 の高さ/天気の変化と季節 ☆季節ごとの天気の特徴調 べ
	9 おもりのはたらき		4 花から実へ ☆受粉以外のふえかた調べ （ジャガイモ）	5 台風と天気の変化 ☆台風のしくみ
			2 動物のからだの内部をさぐ ろう ☆人のからだの内部をさぐ ろう ☆人や動物の骨や筋肉調べ	6 流れる水のはたらき ☆生き物がすみやすい川づ くり ☆川の災害と人のかかわり ☆冬のころの天気のようにす

学年	エネルギー	物質	生命	地球
第6 学年	1 ものの燃えかたと空気 ☆酸素と二酸化炭素／金属 は燃えるか／鉄とさび ☆炭づくり	6 水よう液の性質とはたら き ☆水よう液のものをとくす はたらき／水よう液の混 ぜ合わせ／酸性の土を交 えるくふう ☆指示薬や試験紙づくり/ 水よう液が金属以外のも のをとくすか調べる ※3	2 動物のからだのはたらき ☆人のからだの内部をさぐ ろう ☆人や動物の骨や筋肉調べ	5 大地のつくりと変化 ☆マグマと岩石 ☆断層、しゅう曲などの地 層調べ／化石調べ ※5
	7 電流のはたらき ☆電気の利用 ☆コイルに、鉄以外のしん を入るとどうなるか/ 鉄しんのないモーターを つくろう／電磁石のはた らきを大きくする／モ一 ターを回して電気を起こ す		3 植物のからだのはたらき ☆葉でできたでんぶんのゆ くえ／☆野菜のでんぶん 調べ ※4	
			4 生き物のくらしとかん きよう ☆食べ物をとおした生き物 のかかわり／☆植物の水 の通り道調べ／気孔調べ	
			8 人とかんきよう ☆科学の目でのぞいてみよ う（小さな世界）／科学 の目でのぞいてみよう（遠 くの世界）	
●小学校理科学習のまとめ ※6				

＜留意事項＞

※2 昨今、従来にまして「いのち」の大切さを考える生命尊重の教育や自分の生き方を見つめる教育が重要となつていふことを踏まえ、小5「動物の誕生」中3「生物の子孫の残し方」において、特に人の発生に関わる内容について、小・中学校で連携して重点的に指導を行うようにする。

※3 中和の学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、モデルなどを使用して現象を説明するなどの発展的な学習を取り入れるようにする。

※4 光合成の学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、その現象について説明する活動などの発展的な学習を取り入れるようにする。

※5 大地のつくりの学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、モデルなどを使用して現象を説明するなどの発展的な学習を取り入れるようにする。

※6 小・中学校間の学習内容のスムーズな学びの連続性を図るために、6年生の終末に「小学校理科学習のまとめ」の時間を設定する。

☆は発展的な内容（前段階の校園種において発展的な内容として取り扱えるもの、取り扱う方が望ましいもの）。
□の単元名は、異校園種で重複するもの、学習内容系統上学習する学年間が大きく開いているもの等、配慮を要する単元。

中学校理科	学年	エネルギー	物質	生命	地球
<目標> 自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事象・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	第1学年	1 身のまわりの現象 1章 光の世界 2章 音の世界 3章 いろいろな力の世界 ☆重力と質量 ☆力の大きさとばねののび ☆2力の合力 ☆水圧と浮力 ☆水圧と浮力	2 身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質 ☆密度の計算、うきしずみ 2章 水溶液の性質 ☆溶液の濃度 ※3 3章 物質のすがたと状態変化 ☆昇華	○春をさがしに 1 植物の世界 ○植物の生活とからだのしくみ 1章 花のつくりとはたらき 2章 葉のつくりとはたらき ※4 3章 根と茎のつくりとはたらき 4章 植物のなかま ☆種子をつくらぬ植物	○水の惑星地球大地の変化 2 大地の変化 1章 火をふく大地 2章 ゆれる大地 ☆地震の起こるしくみ 3章 地層から読みとる大地の変化 ※5
	第2学年	3 電流 1章 静電気と電流 2章 電流のはたらき ☆電力と電力量 ☆磁界どうしのはたらき合い ☆直流と交流	4 化学変化と原子・分子 1章 物質の変化 ☆原子の構造とイオン 2章 物質どうしの化学変化 ☆物質の質量の比と原子の質量の比	3 動物の世界 ○動物の世界へようこそ 1章 動物の行動とからだのしくみ 2章 動物のからだのはたらき ☆心臓と肺の動き方 3章 動物のなかま	4 天気とその変化 1章 気象を見る目 2章 空気中の水蒸気の変化 3章 前線と天気の変化 日本の天気
	第3学年	5 運動と力 1章 物体の運動 ☆落下運動 ☆作用・反作用の法則 2章 運動と力		6 生物の細胞とふえ方 1章 細胞の世界 ☆細胞分裂の準備 2章 生物の子孫の残し方 ☆いろいろな生物の染色体の数 ☆親に見られない形質が子に現われる理由 ※2	5 地球と宇宙 ○夜空をながめてみよう 1章 地球の運動と天体の動き 2章 惑星と恒星 ☆月の満ち欠け 3章 宇宙の広がり ※1
		6 エネルギー 1章 いろいろなエネルギー ☆仕事とエネルギー 2章 化学変化とエネルギー ☆燃料と燃焼 7 科学技術と人間 1章 エネルギー資源の利用 ☆電気エネルギー消費量 終章 科学技術の進歩と人間生活 8 科学技術の進歩と人間生活 (選択)	7 自然と人間 1章 自然のなかの生物 2章 自然と環境保全 終章 自然と人間生活 8 自然と人間生活 (選択)		

<留意事項>

※1小4での月・星の学習と中3の天体の学習が学年間が大きく開いており、天動説から地動説へ見方や考え方の変容が、授業を介しておらず、個々に委ねられている。そのため、中3において地動説への認識の変容が確認されないまま学習を行うことになる。これを補うために、小学校6年で「学習のまとめ」の時間を設定し、スムーズな見方や考え方の変換ができるようにする。

※2昨今、従来にまして「いのち」の大切さを考える生命尊重の教育や自分の生き方を見つめる教育が重要となっていることを踏まえ、小5「動物の誕生」中3「生物の子孫の残し方」において、特に人の発生に関わる内容について、小・中学校で連携して重点的に指導を行うようにする。

※3中和の学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、モデルなどを使用して現象を説明するなどの発展的な学習を取り入れるようにする。

※4光合成の学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、その現象について説明する活動などの発展的な学習を取り入れるようにする。

※5大地のつくりの学習内容が、小6、中1で重なるので、小6で発展的に扱い、中1ではその現象の確認にとどまらず、モデルなどを使用して現象を説明するなどの発展的な学習を取り入れるようにする。

☆は発展的な内容（前段階の校種において発展的な内容として取り扱えるもの、取り扱う方が望ましいもの）。
 □の単元名は、異校種で重複するもの、学習内容系統上学習する学年間が大きく開いているもの等、配慮を要する単元。

音楽・表現

○は題材名 ●は他領域との関連題材 ※は異学年交流に関わる題材（下記参照）

題材配列一覧表 作成の基本方針

- 基礎基本の確実な定着と音楽を愛好しようとする心情を大切に伸ばしていく。
- 優れた芸術に出会ったときに、そのよさに共感し心が揺さぶられるような確かな感性を育てる。
- 表現することが楽しい、自分の表現を見たり、聴いたりしてもらうことがうれしいと思えるような経験を幼児期から積み重ねていく。
- 幼・小・中一貫の中で、扱う題材や楽曲の連続性を視野に入れ、系統的で効果的な教材や楽曲の配列を工夫し実践していく。
- 異学年の交流や合同学習を通して音楽的な感受の醸成や技術獲得への効果的な学習の場を系統的に計画し実践・検証する。
- 一貫教育のカリキュラムの中では児童・生徒が高学年の生徒にあこがれや夢をもてるような場や姿を示せるようする。特に幼稚園においては、小・中学生の音楽活動を見たり聴いたりする機会を持ち、豊かな感性をもったり、あこがれの気持ちをもったりできるようにする。
- 音楽に関わる行事（音楽会や鑑賞会等）を大切な柱としてとらえ、幼・小・中間の教諭・生徒・児童の相互交流を計画的に実施していく。

学校区分

幼・小・中における 題材配列一覧

幼稚園		学年	表現：歌唱	表現：器楽	表現：創作	鑑賞
※表現 感じたことや自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。 1 ねらい (1)いろいろなもののおもしろさなどに 対する豊かな感性をもつ。 (2)感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3)生活の中でイメージを豊かにし、 様々な表現を楽しむ。 ○幼稚園教育要領において、音楽は領域「表現」の中に含まれる。幼児にとつての音楽は、リズム・メロディ・歌詞などを感覚的に受け止め、身体全体で表現していく総合的な表現活動である。	3 歳児	※身の回りの中でいろいろな音に気付き、その音色やリズムを味わったり、自分でいろいろな音をだしてみたりしようとする。 ※学級のみんなで歌ったり、音楽に合わせて自分なりの身体表現をしたりして楽しむ。 ○季節の歌などをみんな で歌う ○簡単な手遊びを楽しむ ○音楽に合わせて自由に身体を動かして遊んだりする	○身の回りのものにつれて音を出してみたり、身の回りの音に合わせて 身体を動かして遊ぶ ○リズムなど自由に表現する		○いろいろな音楽を聴き、楽しさや心地よさを感じる	
	4 歳児	※身近にある材料を使って、心地よい音の出るものを作ってみたり、リズムを楽しんだりしながら、自分なりに表現する。 ※学級のみんなと一緒に歌を歌ったり、友達と一緒に踊ったりすることを楽しむ。 ○学級のみんなで歌を歌う ○手遊びを楽しむ ○音楽に合わせて身体を動かしたり、ふれあい遊びをしたりする（ダンス、なべなべそこめけ、かもつれっしやなど）	○カップや空き箱などで音の出るものを作り、リズムを楽しむ ○簡単なリズム楽器で音を出してみる ○ふし、リズムなどを自由に表現する		○いろいろな音楽を聴き、楽しさや心地よさを感じる	
	5 歳児	※簡単なリズム楽器を使って、それぞれの音の違いを感じたり、生かしたりしながらリズムを楽しむ。 ※友達と一緒に歌ったり演奏したりする中で、音楽的な表現をする楽しさを味わう。 ○学級のみんなで声やリズムを合わせ歌を歌う ○手遊び、ふれあい遊びを楽しむ ○遊び歌に合わせて身体を動かして楽しむ。（縄遊びなど） ○音楽に合わせた身体表現を創って楽しむ。（ダンスなど）	○簡単なリズム楽器を使ってリズムを楽しみ、友達と一緒に演奏する。（タンバリン、カスタネット、トライアングル、すず、マラカスなど）		○いろいろな音楽を聴き、楽しさや心地よさを感じたり、情景を思い浮かべたりする	
小学校	学年	表現：歌唱	表現：器楽	表現：創作	鑑賞	
1年～6年通年で「みんなであわせて演奏しよう」（3学期）を開 設し、互いの音をよく聴き、歌ったり演奏したりする能力を養う。	小学1年	○うたでなかよし「ひらいたひらいた」他 ○「○○」のリズムであそぼう 「じゃんけんおししゃ」 「ぶんぶんぶん」とんくるりんぱんくるりん 他 ○歌声であそぼう 「ハレルヤ」「らいおんのうた」他 ○ようすをおもいうかべて 「かたつむりのうた」「うみ」「おしょうがつ」他 ○気持ちを込めて歌おう 「式歌」「きみがよ」他	○鍵盤ハーモニカと仲良くなるうた 「どんぐりさんのお家」「はすばすはする」他 ○きれいな音で演奏しよう「おちば」※1 ○「たん」「たた」のリズムであそぼう 「ぶんぶんぶん」 「てをたたきましょう」 「とんくるりんぱんくるりん」	○いい音見つけて遊ぼう 「がっきたんけん」 「きらきらぼし」	○音楽のしんぞうの音であそぼう 「聖者の行進」「たぬきのたいこ」他 ●ようすをおもいうかべて「おどるこねこ」	
	小学2年	○歌で仲良し 「かくれんぼ」「えがおできょうも」「ロンドン橋」他 ○ドレミであそぼう「ドレミの歌」他 ○2拍子のリズムであそぼう「山のポルカ」他 ○3拍子のリズムであそぼう「いるかばざんばらこ」 ○ようすを思い浮かべて 「ゆうやけこやけ」他 ○気持ちを込めて歌おう 「はるがきた」「木のはのゆうびん」他	○鍵盤ハーモニカの名人になろう 「かっこう」「かえるのうた」 ○楽器の音を合わせよう 「えがおかかやいて」「こぐまの2月」	○いい音を見つけて遊ぼう 「虫のこえ」「かばちや」	●2拍子のリズムであそぼう 「トルコ行進曲」 ●楽器の音を合わせよう 「森のおんがくかや」 ●ようすを思い浮かべて 「口笛ふきと子犬」	

※1 幼稚園年長の「リズム楽器による演奏」と小学校1年生の「きれいな音で演奏しよう」において、2回程度の交流授業を持ち異学年での合同演奏をすることで次のようなねらいに迫りたい。（幼稚園部会との連携を図りながら進めたい。）
 <幼稚園>小学生の鍵盤ハーモニカによる演奏に触れることで、音楽の広がりを感じ、小学生への憧れの場とする。
 <小学1年生>幼稚園児と合同で活動することで、仲良く音楽を楽しもうとする態度を育成する。

	学年	表現：歌唱	表現：器楽	表現：創作	鑑賞
小学校 1年～6年通年で「みんなであわせて演奏しよう」(3学期)を開設し、互いの音をよく聴き、歌ったり演奏したりする能力を養う。	小学3年	○友だちと歌おう 「春の小川」「茶つみ」他 ○ドレミになれよう 「ドレミで歌おう」他 ○ふしの特徴を感じ取ろう 「富士山」「七つの子」 ○気持ちを込めて歌おう 「あの空のように」「すてきな松江」「君に会えて」	○リコーダーとなかよしになろう 「しっぱれー」「小さな花」他 ○ぼくもわたしもたてふえ名人 「さようなら」「笛はともだち」他 ○音をききあって合わせよう 「あの雲のように」「パフ」	○いろいろな音の違いを感じ取ろう 「お菓子の好きな魔法使い」	○場面を想像して 「ハックルベリイフィン」 ○金管楽器の音色に親しもう 「狩人の合唱」「トランペットふきの休日」他
	小学4年	○ふしを感じ生かして演奏しよう 「陽気な船長」他 ○日本の音楽に親しもう 「各地の民謡」 ●音楽から場面を想像して聴こう 「つるのおん返し」	○歌と楽器をあわせて楽しもう 「とんび」 ●いろいろな音の広がり の違いを感じ取ろう 「グループ別の課題曲発表会」 ※2	●歌と楽器をあわせて楽しもう 「歌のにじ」 ○いろいろな音の広がり の違いを感じ取ろう 「いろんな木の実」「音のカーニバル」	●ふしを感じ生かして演奏しよう 「ピチカートポルカ」 「愛の視察」他 ○木管楽器の音色に親しもう 「クラリネットポルカ」 「バディネリ」他 ○音楽から場面を想像して聴こう 「魔法使いの弟子」
	小学5年	○ふしの重なり合いを感じ取ろう 「いつでもあの海は」「やさしい風に」 ○和音の豊かな響きを味わおう 「静かに眠れ」「それは地球」 ○曲想を感じ取ろう 「冬景色」「秋にさよなら」 ○日本の歌曲を味わおう 「スキーの歌」	○いろいろな響きを味わおう 「渡り鳥と少年」他	○日本のふしをつくろう 「おはやしづくり」	○アジアの音楽に親しもう 「アリラン」「まつり花」他 ●いろいろな響きを味わおう ※3 「美しきロスマリン」「白鳥」「威風堂々第1番」 ●曲想を感じ取ろう 「アイネクライネナハトムジーク」 ●日本の歌曲を味わおう 「浜辺の歌」「まちぼうけ」「荒城の月」 ○弦楽器の音色に親しもう ピアノ5重奏「ます」

※2 小学4年生の「いろいろな音の広がり
 の違いを感じ取ろう」と中学2年生
 選択音楽の「アンサンブルの広がり
 を探ろう」において2回程度の交流活動
 を行い最終時に発表会を開き成果を披露
 することで次のようなねらいに迫りたい。

<小学4年生>複数の旋律の重なりや音の広がりを楽しんで演奏し、聴き合うことができる。

<中学2年生>中心となってグループをまとめ、より美しい音楽を創りあげることができる。

※3 小学校5年生の「いろいろな響きを
 味わおう」においては、中学校のオーケ
 ストラ部員によるコンサートを鑑賞して
 身近に実際の楽器の響きを感じる機会
 を設定する。その際、学部とも連携し
 大学教官や学生による独奏等も加える
 ことにより多様な編成の楽曲になるよ
 うにする。

	学年	表現：歌唱	表現：器楽	表現：創作	鑑賞
小学校	小学6年	○ふしの重なり合いを感じ取ろう 「おぼろ月夜」「ラバースコンチエルト」 ○世界の音楽に親しまおう 「われは海の子」「こげよマイケル」他 ○いろいろな響きを味わおう 「星空はいつも」「風を切って」 ○重なり合う音の美しさを味わおう 「ふるさと」「星の世界」他 ※6	○アルトリコーダーに親しまおう ※5 キラキラ星2重奏 スケール 他 ○曲想を感じ取ろう 「木星」他 ●日本の音楽に親しまおう 「箏に親しむ」		●いろいろな響きを味わおう 「小犬のワルツ」「茶色の小瓶」 ●重なり合う音の美しさを味わおう 「赤とんぼ」「箱根八里」 ●曲想を感じ取ろう 「木星」 ○日本の音楽に親しまおう 「春の海」「越天楽今様」
中学校	中学1年	○入学の喜び 「校歌」「パフ」他 ○自分の声を知ろう 「明日という大空」 ○混声合唱を楽しもう 「夢の世界を」「自由曲」 ○詩情を味わおう 「花の街」「赤とんぼ」 ○アカペラの響き 「ふるさと」 ○合唱の楽しみ 「マイバラード」他	○AR検定に挑もう 検定用テキスト ○リズムアンサンブルに挑戦しよう	●リズムアンサンブルに挑戦しよう	○バロック音楽に親しまおう 「春」他 ○物語と音楽 「魔王」「モルダウ」 ○オーケストラの豊かな響き 「アッピア街道の松」 ○日本とアジアの音楽 「越天楽」「陵王乱序」他
	中学2年	○パートの役割と重なり 「翼をください」「勇気をください」 ○美しい日本の歌 「夏の思い出」「夏の日の贈り物」 ○混声合唱を楽しもう 「心の中にきらめいて」他 ○美しい歌声の追求 「サンタルチア」 ○豊かな混声合唱を求めて 「そのままの君で」他	○美しいアンサンブルを創ろう 「コンドルは飛んでいく」 ○アンサンブルの広がりを探ろう (選択) 任意楽曲 ※4小4と合同学習	○美しいアンサンブルを創ろう	○旋律の重なりと響き 「小フーガ」他 ○音楽の仕組みとオーケストラの響き 「運命」他 ○総合芸術の魅力 「アイダ」「白鳥の湖」他
	中学3年	○日本の歌曲を味わおう 「花」 ○合唱の喜び 「大地讃頌」「歌え歌え」他	○和太鼓に挑戦 (アンサンブルと即興演奏)	○和太鼓に挑戦 (アンサンブルと即興演奏)	●日本の歌曲を味わおう 「花」「砂山」他 ○音楽と舞踏の楽しみ 「スペインの音楽」 ○オペラの名シーンを見よう ○和太鼓に親しまおう 「鼓動」VTR

※4 小学4年生の「いろいろな音の広がりの違いを感じ取ろう」と中学2年生選択音楽の「アンサンブルの広がりを探ろう」において2回程度の交流活動を行い最終時に発表会を開き成果を披露することで次のようなねらいに迫りたい。

<小学4年生>複数の旋律の重なりや音の広がりを楽しんで演奏し、聴き合うことができる。

<中学2年生>中心となってグループをまとめ、より美しい音楽を創りあげることができる。

※5 小学6年生からアルトリコーダーを取り入れる。

※6 小学6年生で中学3年生の混声合唱にふれる。

学校行事における3校園のつながりについて

幼稚園

始業式 園歌
 終業式 園歌
 入園式 園歌 お迎えの歌 (曲は毎年変わる)「きみたちきょうから友だちだ」等
 修了式 園歌 修了児の歌 (曲は毎年変わる)「ありがとうこころをこめて」等
 運動会 「リズム」
 毎月の誕生会 おめでとう誕生の歌・季節の歌
 音楽会 (鑑賞・参加) 大学院生の演奏を聴いたり
 いっしょに歌ったりする
 ※年長児が小学校への参加 (演奏・鑑賞) は今後の取り組みとして
 取り上げたいが、2月実施であれば参加が難しい。

← 小学校の音楽会練習に年長の園児が参加する。
 中学校の教諭が実技的な指導に協力する。

小学校

音楽会 2月 各学年の発表 (歌や器楽)
 新しい仲間
 月の歌
 お別れ集会
 夏祭り 附小音頭
 始業式 校歌
 終業式 校歌
 入学式 君が代 校歌 お迎えの歌等
 卒業式 君が代 校歌 送辞の歌 答辞の歌
 合唱団結成 → NHK合唱コンクール参加

← 中学校の教諭が実技的な指導に協力する。

← 小学生の児童が、中学生のクラス発表を鑑賞する

← 中学校との合同練習をする

中学校

校内音楽会 11月 各学級の合唱の発表 (課題曲と自由曲)
 始業式 校歌
 終業式 校歌
 入学式 君が代 校歌 マイバラード
 卒業式 君が代 校歌 仰げば尊し
 「附中コンサート」11月 (部活動) オーケストラ部と
 コーラス部の発表 美術部の作品展

← 音楽会の審査員として大学教官と小学校の音楽教諭が参加する。

← 小6が学年で参加する

これまでのところ上記のような行事を各校園で実施している。矢印で示したところについては、平成18年度末までに実施してきた交流の内容及び平成19年度から実践可能と思われる活動を表している。平成19年度に向けて学校行事や教務的な検討事項をクリアしながら、将来的には3校園合同での「音楽会」の開催に向けての準備をしていきたい。また、課外活動や部活動においては比較的自由的な裁量で交流が可能であるため、平成19年度より具体的に着手していきたい。

心身の発達段階における学び方の深まり

年齢・学年	発達段階における身体能力	運動学	運動学習の仕方	体育場面で大切にしたいこと	学習の組み方	願う子どもの姿	
中3					・選択制授業を中心に、生徒自身が課題解決の方法を計画、実行、評価、改善するPDCAサイクルを生かした授業づくり	①自分にあった課題を持ち、その達成のために工夫し、精一杯運動することができる。 ②自分の体や心に関心を持ち、健康の保持、増進、体力の向上のため、積極的に行動できる。 ③仲間との交流を通し、できた喜びやわかる楽しさを、分かち合うことができる。	
中2	筋力のアップ	状況の変化、相手の動きに対しての変	選択(領域・種目)課題解決方法の工夫、仲間との協力、PDCAサイクル	・精一杯からだを動かす楽しさ、喜び、自分自身を知り、より高まっていくとする気持ち ・仲間と積極的にかかわり合いながら学習を進めようとする気持ち	・選択制授業を段階的に増やしなが、生徒がより主体性をもって、取り組むことができる授業づくり		
中1	動きの正確性				・単一種目での技能獲得や、体力の増進をめざしながら、学び方を学ぶ。		
6年	動きの先取りが容易になる	思考面と身体面の関係が成り立つ	他人と協力したり、いろいろな状況の中で身に付いた技能を使えるようにする学習	・まかせの場の工夫 ・多様な運動経験からの自在位相の確立	・選択制の導入 ・自分の体力と運動能力を知る	・くらしに広げる ・自分らしさを生かす	
5年	意識的な身体コントロールができるようになる				・わかるよこび ・個人のめあての変容 ・図式化位相の確立	・自分の体と向き合わせる展開 ・明確な共有目標と個人の具体的目標の設定	・自分に合っためあてをもつ ・ふりかえる
4年	動きが安定してくる感覚が確立してくる	運動感覚づくりのまとめの時期(神経系の発達)	できる運動をよりよいものにする学習	・規範性 ・いい動きと悪い動きのとらえ	・めあての明確な設定 ・かわりを重視した展開 ・こつみつけの場面設定	・見通しをもつ	
3年	基本形態の組み合わせ運動ができるようになる				・動きの統一性 ・仲間意識	・めあての明確化 ・個人と仲間のかかわりあい ・こつをみつけの場面設定 ・できそうだという積み上げ	・動きの広がり
2年	課題にあった運動へ挑戦する・挑戦できる	成功体験の重視と活発性をいかした運動のシャワー	できない運動を覚える学習	・きまりの必要性 ・友だちのいい動きのとらえ	・目標設定の具体化 ・めあての具体化 ・アナログンを意識した教材づくり ・やくそくづくり	・友だちとのつながり ・動きづくり	
1年	こつがつかめようになっている				・多様な動きへの接触 ・やってみたいの連続(まねる) ・集団行動	・目標設定の具体化 ・めあての具体化 ・アナログンを意識した教材づくり ・やくそくづくり	
5歳	調和的・流動的・バランス的	運動発達の順序性が顕著にみられる			・自分を試す場の用意	・集団の中で自分の力を試そうとしよう	・動きに没頭する
4歳	動きの不確かさ(安定しない)				・有能感を育てる ・自己肯定感	・みてみてへの対応と、すごいねという共感	

大切にしたい運動・運動感覚配列一覧表 作成の基本方針

○幼稚園児は、遊びの中にいろいろな基本運動の要素が含まれていることに注視し、発達個人の差に配慮して必要な支援を行う。また、発達に応じて、学級や学年単位の集団でする活動を設定する。
 ○ボール運動及び球技における系統性の重視及び態度面を重要視する。
 ○各運動領域において、大切にしたい感覚や、学習を組む上でねらいの重点としたものをあげる。
 ○欄外には体育的行事において、交流が友好的であるもの(校内マラソン・体育会の種目等)をあげ、その有効性を今後探っていく。
 ○運動カルテを作成し、記録から子どもたちの実態をとらえるとともに、指導の一貫性をもたせる。

学校区分	学年	幼・小・中における配列一覧							
		基本の運動					ゲーム		
		走・跳遊び	力試し遊び	用具あそび	器械・器具あそび	水あそび	表現リズムあそび	おにあそび	ボールゲーム
幼稚園	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友達に親しみ、心のつながりや安定感をもって遊ぶ。 友達と一緒にいろいろな身体運動を喜んでする。 身の回りの物の片づけや衣服の始末など少しずつ自分でしようとする。 手洗いうがいをしようとする。 遊具や用具の安全な使い方を知る。 							
	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> おもいきり走る 高いところから跳び降りる 両足、けんけん跳び 	<ul style="list-style-type: none"> つなのひっぱりっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ぶらんこをこぐ アスレチック遊具に挑む(バランス合う期、登り) 	<ul style="list-style-type: none"> 三輪車 補助付き自転車 	<ul style="list-style-type: none"> 水の中で自由に歩く 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽のリズムを感じながら身体の動きを合わせようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> おいかけっこ 	<ul style="list-style-type: none"> 動いているボールをおいかけ取る 動いているボールを取る
幼稚園	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友達に親しみ、心のつながりや安定感をもって遊ぶ。 自分の力を試したり、挑んだり、繰り返し続けていく。 自分に自身をもち、自力で取り組もうとする。 身の回りを清潔にし、衣服の着脱・物の始末や片づけが自分でできる。 自分のからだの健康や成長に関心をもつ。 安全に注意して遊ぶ。 							
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> かけっこ 跳び箱からの跳躍 高い跳び箱からの跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> 数人でつなひき 机やマットを運ぶ おすもう 	<ul style="list-style-type: none"> うんてい ぶらんこ立ち シーソー 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒ぶらさがり 片足かけ 	<ul style="list-style-type: none"> 水の中で顔つけ 水の中を歩く 水の中で跳ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに合わせて身体運動・表現する 数人の友達と協応表現ができる。 スキップ 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なルールのあるおにごっこ 走る、止まる、身を交わすなどの空間を利用した動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 走りながらボールを蹴る。 「サッカー」を模倣した簡単なルールのあるボール遊び ボール投げ

幼・小・中における運動・運動感覚配列一覧

学校区分	学年	基本の運動								ゲーム	
		走・跳遊び	力試し遊び	用具あそび	器械・器具あそび	水あそび	表現リズムあそび	おにあそび	ボールゲーム	集団あそび	
		幼稚園	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・学級、学年で同一の活動に向かって相談したり、協力したりして取り組む。 ・集団である運動あそびのルールを知り、守って遊ぶ。 ・家庭や幼稚園における生活リズムを身に付け、見通しをもって自分たちで生活の場を整える。 ・年長児としての有能感や責任感をもち、周りの安全にも気をつけてあそぶ。 							
		<ul style="list-style-type: none"> ・リレー競争 ・長なわとび ・なわとび ・跳び箱(開脚・4～5段) 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱やマット、平均台を運んだり、片づけたりする ・山登り 	<ul style="list-style-type: none"> ・うんていを最後まで渡る ・ポール登り 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助なし自転車に挑む ・鉄棒 とびのり 前回りおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の中で浮力を感じる ・沈めた石を拾う 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキップ ・ギャロップを組み合わせたリズム運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類のおにごっこ(ルールを知って遊ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・ドッジボールの大きなルールを知って遊ぶ ・ボールを蹴る ・ボールを受ける ・相手とキャッチボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・だるまさんがころんだ ・フルーツバスケット ・椅子とりゲームなど 	
	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって走る ・両足とびやけんけんのリズム ・1分間程度走り続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・あざらしで2m ・マットが運べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・2人で輪のころがしあい ・1回旋1跳躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・前転後転 ・かべのぼり逆立ち ・跳び箱への飛び上がり、飛び下り ・鉄棒での支持とぶらさがり 	<ul style="list-style-type: none"> ・水中じゃんけんや石ひろい ・こわがらず顔つけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身で弾んで踊る ・特徴のある動きで即興的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードの変化 ・ぶつからないで走る 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しめるルールを工夫する ・勝敗を素直に受け入れる ・投げる、たたく、打つ、握る、はじく、蹴る運動 		
小学校	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・川跳びやゴム跳びでいろいろな跳び方ができる ・2分程度走り続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・腕立て周りで1周できる ・おんぶすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールつき ・リズムよく短なわ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆりかごからのおきあがり ・壁逆立ち ・だんごむし ・ふとんほしからおきあがり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポビング ・力をぬくこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と自由に踊る ・様子をとりながら続けて踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しめるルールを工夫する ・勝敗を素直に受け入れる ・足でボールを扱う感覚 ・狙ったところにボールを投げる ・自分に向かってくるボールの捕球 		

幼・小・中における運動・運動感覚配列一覧

学校区分	学年	幼・小・中における運動・運動感覚配列一覧																	
		走・跳の運動				力試しの運動	用具を操作する運動	器械・器具を使つての運動			浮く・泳ぐ運動	表現運動	バスケットボール型	サッカー型	ベースボール型	保健			
小学校	3年	・30mを全力で走りきる・いろいろな障害物を跳び越す ・3分一定のペースで走りきる				・手押し車で歩くことができる ・おんぶして歩くことができる	・大縄の回し方 ・ぱつとをふってボールにあてる	・かえるの足うち ・ブリッジ ・タイヤ跳び ・馬とび ・開脚とび ・前回り下り			・1回息継ぎのクロールと平泳ぎ ・ストリームライン	・リズムにのって弾んで踊る ・簡単なひと流れの動き	・ルールづくりの工夫 ・型に応じた作戦の工夫 ・勝敗を素直に受け入れる		・ボールがとんでくるところに動いて、ボールを捕球(手・足に当てる)する ・アウトにならないように走塁することができる	・毎日の生活と健康			
		走・跳の運動				力試しの運動	用具を操作する運動	器械運動			水泳	表現運動	相手ボールになったから早く戻って守ることができる ・シュート、ドリブル、パス	・ボールをキープする ・ドリブルとパス		保健			
	4年	・50m程度を全力で走りきる ・立ち幅、立ち高 ・4分一定のペースで走りきる				・腕立て伏臥屈伸ができる ・おんぶで5m程度あることができる	・8の字1分間で60回 ・短なわの技に挑戦	・前転後転 ・側方倒立回転 ・ロンダート ・前方倒立回転	・逆上がり ・こうもりふり ・だるま回り ・前方支持回転 ・後方支持回転	・台上前転 ・はねとび ・切り返し系の完成	・10m程度の平泳ぎとクロール	・友達と自由に楽しく踊る ・場面を工夫して踊る			・育ちゆく体とわたし				
		陸上運動				体づくり						水泳	表現運動	ボール運動		保健			
	5年	短距離・リレー		ハードル走	走り幅	走り高	体ほぐし	体力を高める運動					水泳	表現運動	バスケット	サッカー	ソフトボール	ソフトバレー型	保健
		・最後まで全力で走りきる		・3歩で走りぬける		・短助走からの跳び	・友だちとのチャレンジゲーム	・一定のペースで5分程度走れる ・腕立て伏臥屈伸が5回以上					・平泳ぎの完成(25m)	・群の動きを工夫して流れ ・地域の民謡の特徴をとらえて	・型に応じた作戦の工夫 ・勝敗を素直に受け入れる ・審判の仕方		・空間認識能力 ・コンビ ・相手の攻撃を邪魔するポジショニング ・攻撃に参加するためのポジショニング	・足で正確にパス ・キックの種類 ・空間認識	・いろいろなボールでのキャッチボール ・ゴロやフライの捕球や送球の技能 ・バッティング及び走塁

幼・小・中における運動・運動感覚一覧

学校区分	学年	幼・小・中における運動・運動感覚一覧																	
		陸上運動				体づくり		器械運動			水泳	表現運動	ボール運動				保健		
小学校	6年	短距離・リレー	ハードル走	走り幅	走り高	体ほぐし	体力を高める運動	マット	鉄棒	跳び箱	・クロールの完成(25m)	・群がいける表現を工夫して表現 ・日本や世界のフォークダンスの動きの特徴をとらえて	バスケット	サッカー	ソフトボール	ソフトバレー型	・型に応じた作戦の工夫 ・個人の役割分担 ・審判の仕方 ・相手の攻撃を邪魔するポジショニング ・攻撃に参加するためのポジショニング ・ゲームを楽しむ ・ゴロやフライの捕球や送球の技能 ・バッティング ・走塁 ・ボールがとんでくるところに動いて、ボールを捕球(手・足に当てる)する	・病気の予防	
		・ダッシュマークを利用したバトンパス	・速い3歩のリズム	・踏み切った後の足のひろがり		・友だちといっしょにチャレンジゲーム	・一定のペースで5分程度走れる・腕立て伏臥屈伸が5回以上												
中学校	学年	陸上運動				体づくり		・組み合わせ ・倒立	・組み合わせ	・はねとびの完成 ・力強い踏切り	水泳	ダンス	球技				武道	保健	
		短距離・リレー	ハードル走	走り幅	走り高	体ほぐし	体力を高める運動						バスケット	サッカー	ハンドボール	バレーボール	柔道		
		1年	・スタートダッシュ ・中間疾走 ・フィニッシュ ・ストライドの変	・リズムカルなインターバル ・ハードリング			・仲間と交流				・柔軟性 ・一定のペースで10分程度走られる	・長く続けて泳ぐ	・リズムにあった動きを考え表現する	・決められた場所や相手を守ることができる ・個人的技術と戦術の向上	・個人的技術と戦術の向上	・決められた場所や相手を守ることができる	ボールをつないでラリーの続くゲームができる ・個人的技術と戦術の向上	・安全な受身ができる ・寝技	・心身の機能の発達と心の健康
		2年			・スピードのある助走 ・踏み切り		・仲間と交流				・柔軟性 ・一定のペースで15分程度走られる ・サーキットトレーニング	・テーマにあった動きを探られる ・動きによる感情の表現	・攻守の切り替えの早いゲームができる ・攻守の戦術の理解	・攻守の戦術の理解	・攻守の切り替えの早いゲームができる	・相手が取れないところに返すゲームができる ・攻守の戦術の	・止まっている相手を崩して投げ技を仕掛けることができる	・健康と環境 ・傷害の防止	
3年				・リズムカルな助走 力強い踏み切り ・空中動	・仲間と交流	・柔軟性 ・一定のペースで20分程度走られる	・現代的なリズムのダンス	・相手との駆け引きを楽しむながらゲームができる	・相手との駆け引きを楽しむながらゲームができる	・相手との駆け引きを楽しむながらゲームができる	・相手との駆け引きを楽しむながらゲームができる	・攻撃や防御を組み立てて返せるゲームができる	・約束稽古などで相手との駆け引きを楽しむことができる	・健康な生活と疾病の予防					

・6年生と中学校の合同校内マラソンを実施する

・ボール運動の連続性、ボール操作の感覚づくり及び能力向上を目指して指導を行う

家庭科 技術・家庭科

題材配列一覧表 作成の基本方針

- ① 5年間を通して基礎基本の確実な定着と家庭生活をよりよくしていこうとする心情を重視する。
- ② 系統的な家庭科、技術・家庭科の学習を実現するために、小学校5年から中学校3年までの5年間の領域を、衣生活、食生活、住生活、家庭生活、環境、ものづくり、情報の7領域で配列する。
- ③ 1つの題材で、7領域の中で重複する内容が多くあり、1つの題材から複数の領域を学習できるようにする。
- ④ 児童、生徒の発達や実態に即して、子どもたちの関心を引きつける授業展開・指導カリキュラムを開発するとともに、実践的・体験的な活動を通して、学習をおこなっていく。

小・中における題材配列一覧

学校区分	学年	衣	食	住
小学校家庭科	第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちのできることにチャレンジ ・針と糸をつかって ○ワクワクソーイング1 ・ミシンを使ってかばん 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちのできることにチャレンジ ・簡単な調理をしよう <皮むき> ○ワクワククッキング1 ・野菜サラダをつくろう ○ワクワククッキング2 ・野菜を好きになろう <ゆでる・いためる> 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちのできることにチャレンジ ・身の回りの整理整頓 ○クリーン大作戦 ・身の回りの汚れ ○快適な住まい方を考えよう ・住まい方について
	第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服を整えよう ○ワクワクソーイング2 ・生活を楽しむ物をつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食メニューを考えよう <ゆでる・いためる> ○ワクワククッキング3 <ご飯・みそ汁> ○楽しい食事を工夫しよう <1食分の献立> 	
中学校家庭科	第1学年		<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の栄養と食事 ・わたしたちと食生活 ・栄養と食事 ・食品の組み合わせ ○食品の選択と日常食の調理 ・食品の適切な選択 ・調理実習 ①ホワイトシチュー ②ハンバーグステーキと温野菜 ③魚の煮付け、酢の物、すまし汁 ・一日分の献立づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○室内環境の整備と住まい方 ・住まいのはたらきと役割 ・安全で快適な住まい(掃除の計画、実習)
	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の選択と手入れ ・衣服の着方の工夫 ・衣服の計画的な活用 ・適切な手入れと補修 ・洗濯機による洗濯 		
	第3学年		<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく豊かに食べる ・会食の工夫 ・すし飯を使った調理 	

留意事項

- ①基礎基本の確実な定着を図るために、5年間を通して繰り返して行う場を設定する。
- ②環境においては、どの題材においても継続的に行うことにより、意識を高める。
- ③家庭科室の学習環境を小学校、中学校とともに同じにし、環境に配慮した片づけ方が5年間通して、共通になるようにする。
- ④小中それぞれの教員の専門性を生かし、中学校教員（技術科）が小学校で授業することができるような題材を取り入れる。

小・中における題材配列一覧

家庭生活	環 境	ものづくり	情 報
<ul style="list-style-type: none"> ○見つめてみよう家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事について ○ワクワククッキング1 <ul style="list-style-type: none"> ・金銭や物の使い方について 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちができることにチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室の使い方 ・ゴミの分別の仕方、洗剤、アクリルたわし ○ワクワククッキング1 <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消について知ろう ・環境にやさしい調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○調理実習で使う自分の箸をつくろう <ul style="list-style-type: none"> ・箸の製作と使い方 	
<ul style="list-style-type: none"> ○生活を見つめよう <ul style="list-style-type: none"> ・生活時間を見つめよう ○自分にできること <ul style="list-style-type: none"> ・＜地域編＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服を整えよう <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯洗剤の使い方 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○食品の選択と日常食の調理 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しく衛生的な調理 ・省エネルギーのための食生活 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術とものづくり（生活に役立つものづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で役に立つ作品を設計と製作 	
<ul style="list-style-type: none"> ○中学生になるまで ○幼児の発達と家族 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊び ・幼児の成長 ・子どもが育つ環境 ○衣服の購入 <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集と選択 ・販売方法と購入方法 ・契約と消費者の権利 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の選択と手入れ <ul style="list-style-type: none"> ・洗剤の種類と特徴 ○わたしたちの消費生活 <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術とものづくり（エネルギー変換と利用） <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの変換とその利用 ・動きを伝えるしくみ ・エネルギー変換を利用した製品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報とコンピュータ <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのしくみと基本操作 ・コンピュータ利用
<ul style="list-style-type: none"> ○幼児との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が喜ぶおもちゃづくり ・幼児との交流（幼稚園での実習） ○わたしたちと家族・家族と地域 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしと家庭生活 ・家庭生活と地域 	<ul style="list-style-type: none"> ○栽培（前期選択技術） <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の普通栽培 ・収穫した野菜の調理 ・生ごみの堆肥へのリサイクル ○環境（後期選択技術） <ul style="list-style-type: none"> ・EM（有用微生物群）を使った環境浄化活動 ・環境問題の調査活動 		<ul style="list-style-type: none"> ○情報とコンピュータ <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ利用 ・情報通信ネットワークの利用 ・マルチメディアの活用 ・情報モラルとコンピュータ利用

題材配列一覧表 作成の基本方針

- 小学校における英語は年間 17 時間の「英語活動」とし、小学校 3 年生（初等部後期）から開始する（ただし、朝学習を利用しての週 1 回のテレビ視聴は小学校 1 年生より行う）。
- 小学校の英語活動においては、英語を学ぶことを通じて、異文化に親しみ、諸外国の人々の生活に関心を持って接することができる態度の育成を図り、国際コミュニケーション力の基礎を養う。
- 中学校の英語科においては、英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。
- 小学校 6 年生（中等部 1 年生）を英語による活動から教科としての学習への移行期として捉え、中学校教員による授業を部分的に導入する。また、小学校英語活動と中学校英語科の交流活動を取り入れ、両者の連携を図る。

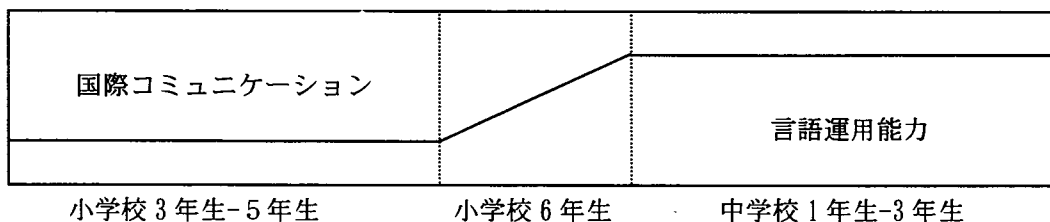
上記の基本方針の策定にあたっては、英語活動/英語科によって育成される「2つの力」とカリキュラム構成上の「2つの視点」を考慮した。「2つの力」は、英語教育の理念・目標とも関わるものであり、次の点が含まれる。

- (1) a. 実践的コミュニケーションのための言語運用能力
- b. 異文化理解を含めた広い意味での国際コミュニケーション能力

また、これらの力を育成するためのカリキュラム構成上の視点としては、次の点を重視した。

- (2) a. 一貫教育の中で上記「2つの力」をどのようにつけていくか。
- b. 小学校教育全体の中で英語活動が占める比重をどのように評価するか。

(2a) の視点より、小学校の英語活動段階では (1b) の広義のコミュニケーション能力に、また中学校の英語科においては (1a) の言語運用能力に、それぞれ重きを置き、小学校 6 年生（中等部 1 年生）の移行期においてこれら 2 つの段階が結ばれるカリキュラムを構想した。その指導上の重点の置き方を概念図で表すと、以下のように示される。



これにより、現在の小学校英語活動で課題となっている、中学校英語への橋渡しがよりスムーズに行われることが期待される。

また (2b) の視点に基づいて、小学校の英語活動は小学校 3 年生（初等部後期）から開始することとする。小学校 1・2 年生であえて英語活動を行わないのは、以下の理由による。(i) 外国語環境における英語学習に関して、「開始年齢が早ければ早いほどよい」ことを裏付ける十分な科学的なデータが存在しない。逆に言えば、純粋に英語運用能力育成という面から見た場合、小学校 1・2 年生で年間 17 時間（計 34 時間）の英語活動を行わないことのデメリットはあまり大きくない。(ii) 小学校英語活動が目指す「異文化理解」は「自分とは異なるものへの気づき」であり、これは英語以外の教育活動によっても育成することができるものである。(iii) 小学校 1・2 年生（初等部前期）では母語である日本語やその他の基本的な科目により大きなウェイトが置かれるべきであり、英語活動の重要性が相対的にそれほど高いものであるとは考えられない。

附属小学校 英語活動 単元配列表

	4月(1)	5月(2)	6月(2)	7月(1)	9月(2)	10月(2)	11月(2)	12月(1)	1月(1)	2月(2)	3月(1)
3年	あいさつしよう ・Hello. ・Good morning. ・Good bye. ・Thank you. ・You're welcome.	色であそぼう カラーピンゴをしよう ・red ・blue ・yellow ・green ・black ・white	動物たくさん知っ てるかな ー動物ピンゴー ・dog ・cat ・lion ・tiger ・bird ・fish ・panda	数であそぼう ♪ Ten Little Monkeys ・one ～ ten	数であそぼう 今、何時? What time is it now? It is ten. ・one ～ twenty	好きなスポーツは? I like ～ ・volleyball ・soccer ・basketball ・baseball ・tennis ・swimming ・running	世界のクリスマス をのぞいてみよう ・Santa Claus ・Christmas tree ・star ・bell ・present	わたしの体はどう呼ぶの? ♪ Head, Shoulders, Knees & Toes ・head ・shoulders ・knee ・toe ・foot ・hand ・back	お話を聞こう 「The Very Hungry Catepillar」		
	あいさつしよう ・How are you? ・I'm fine. ・And you? ジャンケンゲーム を楽しもう ・Rock ・Paper ・Scissors ・Go!	・pink ・brown ・purple ・orange	・rabbit ・mouse ・bear ・pig ・horse ・cow ・sheep	数であそぼう 今、何時? What time is it now? It is ten. ・one ～ twenty	好きな果物は? カードゲームをしよう ・apple ・orange ・strawberry ・pine ・banana ・grapes ・melon ・pear	・stocking ・candy ・candle ・reindeer ・sled	ふくわらいゲームをしよう ・eye ・nose ・mouth ・ear ・hair ・up ・right ・left ・down ・stop ・turn	お話を聞こう 「The Three Little Pigs」			
5年	あいさつしよう ・Nice to meet you. ・My name is ～. 今日は何曜日? ・What day is it? ・Sunday ～ Saturday	何を持っている の? What do you have? I have a ～. ・pen ・pencil ・eraser ・ruler ・book ・notebook	何さいですか? How old are you? ・one ～ thirty	レッツ ゴー ショッピング お店屋さんのやり とりをしよう ・How much? ・It's ten dollars. など	ハロウィンって何? ・Halloween ・Trick or treat ? ・pumpkin ・candy ・hat ・mantle ・What are you? ・I am a ～. ・witch ・spider ・ghost ・black cat ・bat ・skeleton ・monster	これってどこの国? ー世界すごろくー Where? I go to ～. ・Japan ・Canada ・Brazil ・France ・Germany ・China など	・glasses ・headband ・cap ・hat ・earrings など	お話を聞こう 「Jack And The beanstalk」 「The Little Match Girl」			
	自己紹介して尋ね よう ・What's your name? ・How old are you? ・What's your hobby? ・I like ～. 英語の辞書にふれ てみよう ※中学校教員との 授業	あなたは何が 好きですか? What ～ do you like? ・animal ・color ・fruit ・sport など	数字をつくろう ・What number do you have? ・I have ～. ・forty ・fifty ・sixty ・seventy. ・eighty ・ninety ・one hundred	※払うお金の数 字を大きくし ていく	中学生と英語で 活動しよう ※中学校教員、中学2 年生の英語選択授業 者との授業	※他に様々な国を取 り上げる。	かんたんな英語劇をつくって発表しよう ー今までの表現や辞書を使ってー				

※ 朝のちどりタイムで週1回、「英語であそぼ」(NHK教育番組)を10分間、視聴する。(1年生～6年生)

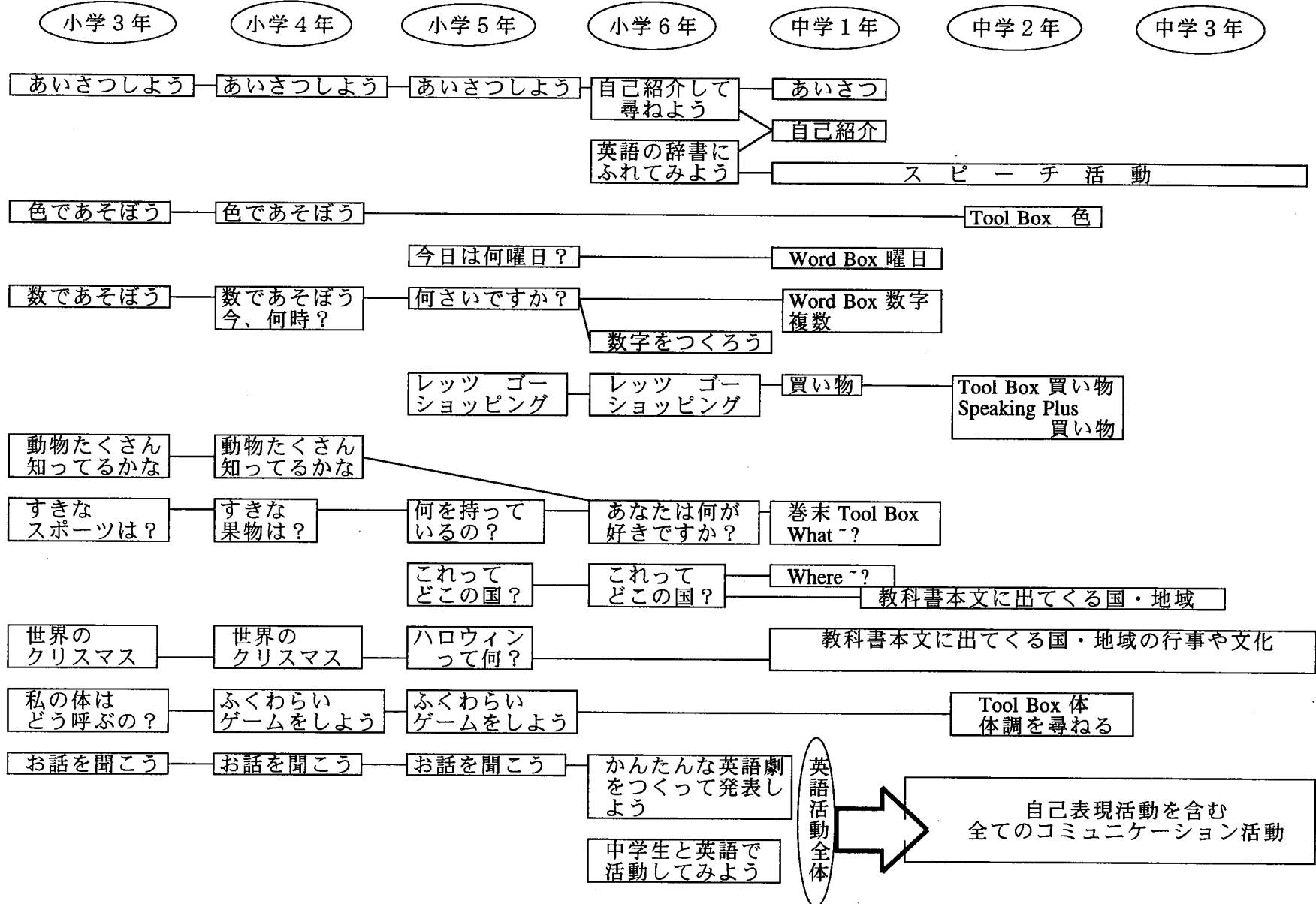
附属中学校 英語科(必修) 単元配列表

* 太字は単元名、 [・] は主に扱う内容や重点を置く活動を表す

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
中学 1年	スピーチ活動													
	英語科の扉 ・ガイダンス ・英語の音と文字に親しむ	音から文字へ ～ひろがる英語の世界～ ・be動詞と一般動詞 ・複数形に触れる ・英語を書くことに慣れる ・辞書指導	英語の文の基礎固め ～誰がどうする～ ・三人称単数現在 ・複数 ・代名詞 ・進行形 ・スピーチ活動を始める				英語の世界を広げよう① ～現在から過去の世界へ～ ・疑問詞 ・過去形 ・第1学年での学習の振り返りとまとめ							
* 自己表現活動・・・音声によるもののみ から 音声、文字、音声と文字の両方を用いるものへと 移行していく														
中学 2年	スピーチ活動													
	英語の世界を広げよう② ～過去、現在、そして未来へ～ ・共に学ぶ仲間との関係作り ・いろいろな時制 ～過去と未来を中心に ・不定詞① ・助動詞				表現の世界を楽しもう ～どんな英語が身に付いたかな～ ・接続詞 ・動名詞 ・比較表現				2年間の総まとめ ・第2学年での学習の振り返りとまとめ ・受動態					
* 自己表現活動・・・学習したことを生かす場としての自己表現活動(スキット等)を多く仕組んでいく														
中学 3年	スピーチ活動 ・・・2学期後半からは自己表現活動と一本化し、音声表現に限らない自己表現活動とその共有化を図る時間(シェアリングタイム)とする。													
	* 自己表現活動 共に生きる① ～英語を使って広がる世界～ ・現在完了形 ・不定詞②				共に生きる② ～私の意見 あなたの意見～ ・自分の意見を言う/書く活動とその共有化を図る活動を多く取り入れる ・後置修飾 不定詞 分詞 関係代名詞				→ シェアリングタイム			3年間の総まとめ ・3年間の学習の振り返りとまとめ		

平成19年度 附属小・中学校 英語活動・英語科 関連図

* 中学校については、小学校の英語活動と関連が深いもののみを挙げてある



一貫教育をめざした表現・図画工作・美術のカリキュラム編成に向けて

教科カリキュラム編成には、まずもって学校教育全般の基本的考え方や仕組み、学習指導要領、さらには各学校の教育目標や子どもたちの実態・地域環境等を把握しておく必要がある。そして、実際的な編成・実施に当たって、具体的には次のこと等に留意しなければならないと考える。

(1) 教科目標・各学年目標の明確化(教科観)

- ・教科をとおして子どもたちに培いたい力(目標)を明確にすること。
- ・一貫した系統的なねらいの見通しをもち、それぞれの発達段階でどのような力を培うかを明確にすること。
- ・学習指導要領の目標に照らして適切であること。

(2) 教科目標等に基づく適切な題材配列(教科内容の構造化と発達課題)

- ・子どもたちの学習経験の相違や能力・適性、興味・関心等の実態や発達課題を十分把握すること。
- ・基礎・基本をおさえ、子どもたちの個性に対応する多様な表現が可能な題材を設定するとともに、生涯にわたる創造活動につながる意欲を育てるようすること。
- ・各学年の重点題材を明確にしたり、転移力のある題材、複合題材等を工夫したりして教材の精選を図ること。
- ・特定の分野や領域に偏ることなく、表現内容間、あるいは表現と鑑賞のバランスや教材相互のつながりに配慮すること。
- ・題材の系統性・段階的発展性等に配慮し、全学年を見通した指導内容・題材を明確にすること。
- ・学習指導要領の内容に照らして適切であること。

(3) 題材に必要な材料・用具や配当時間数等の明確化(指導方法・展開)

- ・全学年を見通した材料・用具等の系統的な配列と実際的な授業展開への可能性を考慮すること。
- ・各題材の時間配分を十分検討し、子どもたち負担過重にならないよう配慮すること。

(4) 地域性や季節、行事などとの関連性(題材のリアリティー)

- ・学校・家庭・地域等、子どもたちの生活に密着した題材化により、リアリティーのある学習展開を図ること。
- ・地域の美術関係の施設、資料等との関連を考慮するとともに、その活用を図ること。

(5) 教科カリキュラムの評価

- ・日常の授業実践の中で子どもたちの学習状況を注意深く見守り、絶えず学習指導の現状を点検し、次の授業の改善に努めることの大切さ。

以上、主として(1)は目的、(2)は内容、(3)・(4)は方法等の実際的なことにかかわることである。また、(5)では評価である。ここであえて評価について記述したのは、こうしたカリキュラムが固定的なものではなく、常に教育実態に即応した工夫・改善の必要性を考えるからである。「計画」と「実施」と「改善」は循環的過程を構成する。その意味では、カリキュラム編成の題材配列等において、前述の留意点に加えてさらに弾力的な取り扱いができるよう配慮がなされてよいのかもしれない。

いずれにせよ、本教科等では、子どもたち一人ひとりが自らの持ち味を生かしながら、創造活動の楽しさ・自己表現のすばらしさを体験できるようにし、創造意欲を高め造形的な創造能力を育てていくことができるようなカリキュラム編成の創意・工夫が求められるであろう。

次に、個々の教材(題材)化に目を移すと、その実体的な側面としては、教師＝学習過程に具体的な形としてあらわれる「対象(想)」〈何を〉、「素材(材料)」〈何を使って〉、「表現形式(手法)」〈いかに〉の3つの構成要素をとらえることができる。


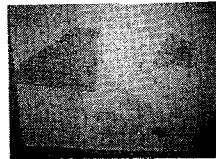

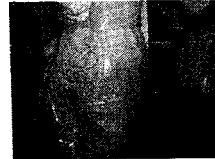
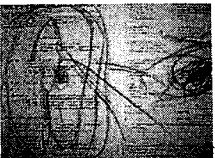

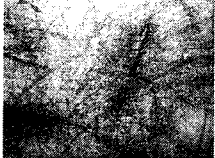

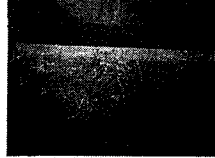
つまり、本教科等の教材(題材)化の視点を大きくとらえると、まず、子どもたちにとっては見えにくくわかりにくい「教育内容」を前提として、それを具体的な「対象(想)」・「素材(材料)」・「表現形式(手法)」等の「わかりやすい具体物」に置換することだと考える。そして、その授業構想と展開においては、子どもたち一人ひとりが意欲的、能動的に取り組めるよう、題材の各構成要素を自ら選べるように弾力的に扱ったり、また、自分の造形世界を創り出すようにし自己表現できる造形的能力として学んでいくよう構成するところに本教科等の特徴がある。つまり、そうしたことを根底に置いて教材(題材)化されなければならないと考えるのである。

このように、教科カリキュラム編成に当たっては、教科の特性を十分に踏まえながら、その目的・内容・方法等、さらには、個々の題材の構成要素等に至るまでさまざまな視点からの検討が必要となる。

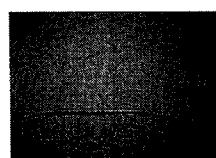
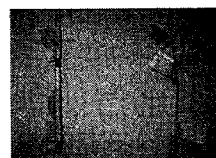
ところで、ここに示す「活動事例集」は、附属校園と大学の共同研究のもと「素材や表現方法の系統性から幼小中一貫教育の造形教育を探る」をテーマにして取り組んだ一つの成果である。ここでは、まず、本学校園の一貫教育の実現に向けた新たなカリキュラムづくりの一步として、これまで各附属校園が実践してきた事例を洗い出し整理することから始めている。そして、ここでは題材の構成要素の一つである「素材(材料)」またそれにかかわる用具等に焦点化し、その系統性の適否等について附属校園相互で検討を重ねてきた。

しかし、「素材や表現方法の系統性から一貫教育の造形教育を探る」とし、単に易から難へとといったクールな表現技術の系統性からのみの題材配列を図ろうとするものではない。「素材(材料)」は、題材の構成要素の一つにすぎないからである。前述したとおり、カリキュラム編成には、さまざまな留意事項から題材相互を多面的にとらえなければならない。今後とも、子どもたち一人ひとりが創造意欲を高め、造形的な創造能力を自ら育てていくカリキュラム編成をめざし、幅広い検討をすすめたいものである。

主な各学年の活動事例

<p>学年</p> <p>学級で共有する活動 自分で見つけた遊び</p>	<p>年少（3歳児）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「あ、石に跡がついたよ」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「テープをバタバタ・紙が壁にくっついた」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「チョキチョキ・僕のお金のでき上がり。お買い物へ行きます。」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「ビニール袋に絵を描いて私のドレスのでき上がり」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「大好きなバタをつかまえてー言「絵を描きたい」湧き上がる感動を表現しました」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「くるくるくる・・・マルがいっぱい描けたよ」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「コロコロ・スースー。コンテで面白いね」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「絵の具を体に付けてみんなで紙の上を歩いたよ」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「色が混ざったよ。マジックで描くのは面白い」</p> </div> </div> <p>先生や友だちに親しみ喜んで「自分でみつけた遊び」をしていく</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>常時使えるようにして置いてある素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆 ・色鉛筆 ・クレパス ・はさみ ・砂 ・土 ・石ころ ・どろ ・砂場道具（スコップ・シャベル・バケツ・ザル・カップ） ・四季折々の自然材料 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見通しを持って出合わせたい素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテ ・水彩絵の具 ・画用紙 ・色画用紙 ・色紙 ・折り紙 ・ダンボール箱 ・布きれ ・のり ・のりえのく ・筆 </div> </div>
--	---

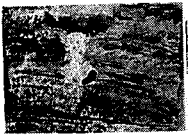
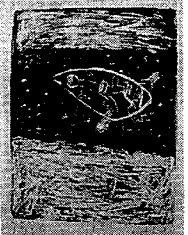

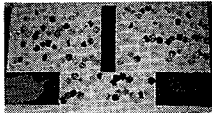
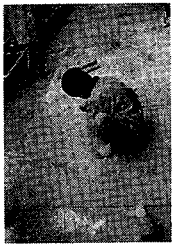

主な各学年の活動事例

<p>学年</p> <p>学級で共有する活動 自分で見つけた遊び</p>	<p>年中（4歳児）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「いらっしゃいませ。ハートのバツ屋さんです。色を塗って形を切り抜いたら、はい、どうぞ」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「どこまで続くかな。部屋中一杯つながった汽車の線路のでき上がり」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「毛糸・和紙・いろんな物をくっつけて僕や私のでき上がり」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「落ち葉や小枝のゴチソウでパーベキューパーティーのはじまりはじまり」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「お団子・お寿司・ホットケーキ・粘土はいろいろ作れるね」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「これもくっつけるともっと素敵になったぞ。宝箱に何をいれようかな」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「バスに乗ってみんなで遠足に行ったよ。楽しかったな」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「のれんだよ」</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  <p>「わ～！折り紙でこんな形になった」</p> </div> </div> <p>友だちと一緒にいろいろな遊びを見つけたら、自分の力を試したりしていく</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>常時使えるようにして置いてある素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆 ・色鉛筆 ・クレパス ・はさみ ・植物性のり ・各種接着剤テープ ・砂場道具（スコップ・シャベル・バケツ・ザル・カップ） ・砂 ・土 ・石ころ ・どろ ・四季折々の自然材料 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見通しを持って出合わせたい素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテ ・水彩絵の具 ・画用紙 ・色画用紙 ・色紙 ・折り紙 ・紙テープ ・ダンボール箱 ・石鹸 ・泡立て器 ・ストロー ・布きれ ・ポスターカラー ・たらい ・のり ・のりえのく ・筆 ・紙粘土 ・ビニールテープ </div> </div>
--	---

主な各学年の活動事例

学年	年長（5歳児）			
学級で共有する活動 自分で見つけた遊び	 「ほら、また釣れたよ。金魚屋さんのこの考え、面白いでしょ」	 「完成！お祭りでみた、どう行列のおどろ。みんなで作ったんだよ」	 「あのね、どんぐりに絵の具をつけると絵が描けるよ」	 「いつものつなげ方を変えたらブドウができたよ」
	 「ドロドロ・ベタベタ・サラサラ、いろんな土で作ったごちそう」	 「ケーキの上にお花を飾ったらもっと素敵になるね」	 「発見！いろんな花・いろんな葉っぱでジュース！」	 「触覚はここ。羽はここ。手はここにしていた。そして足の形はこうなんだよ」
素材体験	友だちと協力し、考えを出し合って「自分で見つけた遊び」や「学級で共有する活動」を創っていく。			
	常時使えるようにして置いてある素材 <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆 ・ 色鉛筆 ・ クレパス ・ 紙の切れ端 ・ 毛糸 はさみ ・ 植物性のり ・ 各種接着用テープ 砂 ・ 土 ・ 石ころ ・ どんろ ・ タフローブ ・ スズランテープ 砂場道具（スコップ・シャベル・バケツ・ザル・カップ） 四季折々の自然材料 		見通しを持って出合わせたい素材 <ul style="list-style-type: none"> コンテ ・ 水彩絵の具 ・ 和紙 ・ セロハン紙 ・ ビーズ ・ 画用紙 色画用紙 ・ 色紙 ・ 折り紙 ・ 木槌 ・ きりふき ・ ダンボール箱 ・ 石鹸 泡立て器 ・ ストロー ・ はり ・ 布きれ ・ ポスターカラー ・ たらい 板切れ ・ 針金 ・ のり ・ のりえのく ・ 筆 ・ はしペン ・ 墨汁 ・ 紙粘土 ビニールテープ ・ 紙テープ 	

主な各学年の活動事例

学年	小学1年					
活動内容	絵に表す	版で表す	立体に表す	つくりたいものをつくる	造形的なあそび	
題材名	こんなことをしたよ	たのしかった〇〇	粘土でつくろう	みんなでつくったペロペロキャンディー	ペランダに大きい絵をかこう	ふわふわ きゅ
作品活動	 「みんなでした田うえ」 ・ したことを思い出してかく。 ・ 自分や友だちの作品のよさを見つける。	 「サバニをこいだよ」 ・ 版画の面白さを知る。 （石膏版画をつくり、紙に写し取って楽しむ）	 「なかよしきょうりゅう」 ・ 思いついたものやそのお話を粘土でつくる。 （粘土の感触を楽しみながらつくる）	 ・ 「こんなキャンディーがあったら」と夢をふくらませてつくる。 （材料の使い方を工夫する）	 ・ ペランダに大きい絵をかこう。	 「おおきなサンドイッチ」 ・ 布やスポンジの感触を楽しむ。 ・ 形や手触りからものにみてる。
	素材体験	材料・用具 <ul style="list-style-type: none"> 画用紙 ・ 色画用紙 水彩絵の具 ・ コンテ クレヨン ・ 鉛筆 	<ul style="list-style-type: none"> 石膏版 ・ 王かん ニードル（角・丸） 釘（太・細） ・ 和紙 中性インク ・ バレン 	<ul style="list-style-type: none"> 土粘土 ・ 粘土板 ヘラ 	<ul style="list-style-type: none"> 色画用紙 ・ クービー 紙皿 ・ 絵の具 ストロー ・ クレヨン はさみ ・ のり ・ クレパス 	<ul style="list-style-type: none"> チョーク ・ 水 たわし ・ バケツ
表現技法 <ul style="list-style-type: none"> 線でかく 着色する コンテを粉にして着色する 		<ul style="list-style-type: none"> 用具でひかく こする バレンでこする 	<ul style="list-style-type: none"> まるめる ・ つける 平らにのぼす ひちにする ひっぱりだす 	<ul style="list-style-type: none"> 指で絵の具をつける クレヨンやクービーで線をかきこする ・ ぼかす にじませる ・ 接着する 	<ul style="list-style-type: none"> チョークで線をかきこする 着色する こする 粉にする 	<ul style="list-style-type: none"> ぎゅっとにぎる ひちをむすぶ まく ・ くるむ つなく ・ みてる

主な各学年の活動事例

学年		小学2年				
活動内容		絵に表す	版で表す	立体に表す	つくりたいものをつくる	造形的なあそび
題材名		わたしの育てている〇〇	おはなしだいすき りゅうの目のなみだり 〇〇なりゅう	もりのどうぶつたち	葉っぱや木の葉のへんしん	つないでつないで 布でへんしん
作品 活動	 <p>・自分が育てている野菜をかか。 ・あらわしたいところをよく見てかか。</p>	 <p>・想像して版に表す。 (お話を聞いて想像したことや心に残った場面を表す)</p>	 <p>「どうぶつのしょくじかい」 ・森の動物の暮らしを思い浮かべてつくる。</p>	 <p>「うさぎのみんなはなかよしだね」 ・材料から発想する。(自然素材のかたちや色を組み合わせでつくる)</p>	 <p>・自分の家(基地)から紙をつなげて道きのぼしていく。 ・紙をつなげながらお話ををつくる。</p>	 <p>「おひめさまになったよ」 ・使いたい布を選んで使ったり、身につけたりする。 ・なりたい〇〇になる。 ・友だちと見せ合う。</p>
	材料 用具	<ul style="list-style-type: none"> 画用紙・色画用紙 } 選択 ハトロン紙 えんぴつ・コンテ・筆 絵の具・ペン・タンポ 	<ul style="list-style-type: none"> 和紙・紙版画(凸版) ローラー・インク はさみ・のり・ひも ダンボール・麻布・紙 	<ul style="list-style-type: none"> 粘土 どべ(水で溶かした粘土) 粘土板 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉・木の葉 木の枝・絵の具 接着剤 	<ul style="list-style-type: none"> 紙(大小・長短・色…) セロハンテープ のり・クレヨン
表現 技法	<ul style="list-style-type: none"> 線でかく 着色する 	<ul style="list-style-type: none"> 刷る 貼る 切る 組み合わせる 	<ul style="list-style-type: none"> まるめる つける 平らにのぼす ひもにする ひねり出す 	<ul style="list-style-type: none"> 並べる 組み合わせる みてる 貼る 	<ul style="list-style-type: none"> 重ねる 折る つなげる 輪にする 貼る 描く まるめる 	<ul style="list-style-type: none"> かぶる 肩にかける 結ぶ くるむ 敷く みてる


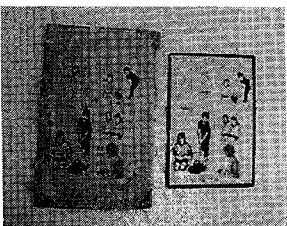

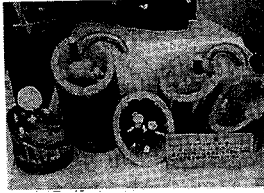
主な各学年の活動事例

学年		小学3年				
活動内容		絵に表す	版で表す	立体に表す	つくりたいものをつくる	造形的なあそび
題材名		お話の絵 ～巨人と大きな木～	こんなこん虫(生きもの) ワッペンがあったらいいな	友だちといっしょ	しんじこの〇〇	ならべてつくりよう ひみつきち
作品 活動	 <p>「うれしかった木」 ・お話の場面から心に残った場面を決めてかか。</p>	 <p>・板紙凸版のつくり方を知る。 ・自分の好きな生きものの形や様子をとらえてつくる。 ・彫り方、はぎ取り方を試し、表し方を工夫して版面に表す。</p>	 <p>「大玉ころがし」 ・友だちと活動しているところを粘土でつくる。 ・粘土のかたまりの組み合わせ方から動きをつくる。</p>			
	材料 用具	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具 コンテ 筆 	<ul style="list-style-type: none"> 板紙凸版 油性インキ 和紙 バレン ローラー ニードル(角・丸) 	<ul style="list-style-type: none"> 紙粘土 ヘラ (補助的に新聞紙) 	<ul style="list-style-type: none"> 宍道湖畔で集めたもの (流木・海ガラス・しじみ) 小石 陶器の角の取れたもの ボンド ホットボンド ペンチ テグス 針金 	<ul style="list-style-type: none"> ダンボール ボンド ダンボールカッター ガムテープ はさみ 目打ち ひも
表現 技法	<ul style="list-style-type: none"> 描く(鉛筆で描く・絵の具で直書き) 着色する 	<ul style="list-style-type: none"> はぎ取る 彫る 切る 刷る 刷り重ねる 組み合わせる 	<ul style="list-style-type: none"> まるめる ひねり出す 押しつける 組み合わせる 	<ul style="list-style-type: none"> 接着する 並べる 組み合わせる つなぐ 結ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 切る 並べる つなぐ 穴を開ける ひもで結ぶ 	

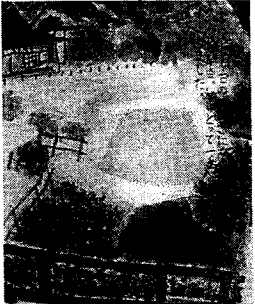

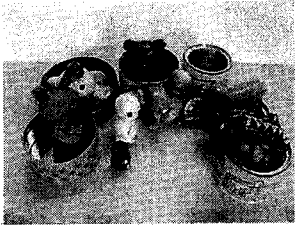

主な各学年の活動事例

学年		小学4年				
活動内容		絵に表す	版で表す	つくりたいものをつくる	造形的なあそび	
題材名		くらしの中から題材を選んで 千手院で見つけたよ	お話の絵から（木版） ゆうかななアジック	わたしの〇〇オブジェ 宍道湖で見つけたよ	美じゅつかんたんけん 色とかたちのもようあそび	
素材 体験	材料 用具	・画用紙 ・水彩絵の具 ・コンテ ・はしペン ・水性ペン ・画板	・木版用版木 ・彫刻刀 ・インク ・ローラー ・水彩絵の具	宍道湖で集めたもの（藻木・青ガラスしじみ殻片 ・石・紙・綿・ホットボンド・ボンド・釘・金づち ・のり・ペンチ・テグス・針金・糸・のり	・インスタントカメラ ・写真 ・デジタルカメラ ・絵の具 ・のり ・はさみ ・ペン ・色鉛筆	
	表現 技法	・描く ・着色する	・彫る ・刷る ・着色する（裏着色） 表したい場面の感じがより出るように 紙に色をつける	・接着する ・穴を開ける（貝・木） ・つなく（糸で、針金で） ・結ぶ（テグスで、ひもで）	・写したいものを選ぶ ・写す ・切る ・書く ・組み合わせる ・貼る	
作品 活動		 <p>「千手院のおじょうさま」 ・千手院で見つけたものを題材に選んでかく。 ・見つけたものの特徴をじっくり見ながら、自分の描きたいところを見つけ、構成を工夫してかく。</p>	 <p>「9つの扉をもつおそろいとりとたなかアジック」 ・お話の場面から、心に残った場面を決め、表したいテーマと題名を決める。 ・彫り方を試し、表し方を工夫して版画に表す。</p>	 <p>「水鳥のフォトフレーム」 ・「宍道湖で見つけたもの」との関わりから、つくりたいものを発想し、つくりたいものに合う表し方や材料を選んでつくる。</p>	 <p>・美術館にでかけ、お気に入りの造形を見つけて写真に写したり、友達に紹介したりする。 ・自分の写した写真から5～6点を選び、友達に出題する形式の「美じゅつかんたんけんマップ」をつくる。</p>	 <p>「ぼくはつどドロカラ」 ・用具の特徴を生かし、絵の具を使って模様づくりをする。 ・見つけた模様やできたものから発想を広げて題をつける。</p>

主な各学年の活動事例

学年		小学5年			
活動内容		絵に表す	版で表す	立体に表す	工作に表す
題材名		身近なものを見つめて 「私たちの南庭」	部屋に飾りたいカレンダー	針金を使って見つけた形から キャンドルスタンドをつくらう	夢をかたちに 「竹の中の世界」
素材 体験	材料 用具	・画用紙 ・鉛筆 ・はしペン ・水彩絵の具 ・コンテ	・プリントごっこ ・版 ・色画用紙 ・和紙 ・厚紙 ・はさみ ・毛糸 ・のり ・綿 ・ダンボール（台紙・額）	・針金 ・ペンチ ・ビーズ ・台になるもの ・アルミ箔	・竹 ・セロファン ・粘土 ・釘 ・彫刻刀 ・糸 ・紙 ・布 ・画用紙 ・不織布 ・絵の具 ・はさみ ・電動糸のこぎり ・ニス ・金づち ・刷毛
	表現 技法	・描く（線描・にじみ・ぼかし） ・着色する	・接着する（貼る） ・版を組み合わせる ・カレンダーの版と額を組み合わせる	・巻く ・伸ばす ・とめる	・接着する ・貼る ・粘土（まるめる・つける・のぼす） ・着色する
作品 活動		 <p>・自分が見つけた、春の南庭の魅力が主題を選ぶ。 ・自分が描きたいものの特徴を見つけて、線や色を工夫して描く。</p>	 <p>・自分の部屋に飾りたいカレンダーをつくる。 ・1年の暮らしから月ごとのテーマや題材を選んで版をつくる。</p>	 <p>・針金を曲げたり、巻いたり、ねじったりして組み合わせる。 ・みつけた形からろうそくの灯りをもとすキャンドルスタンドをつくる。</p>	 <p>・竹の中に入れたい・竹の中に広がる世界を考え、作品をつくる。 ・構想をもとに使う材料を集めて選択し、竹の使い方を考えてつくる。</p>


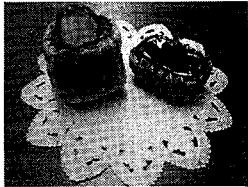
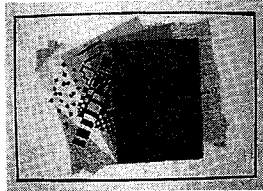
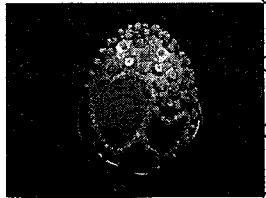
主な各学年の活動事例

学年	小学6年			
活動内容	絵に表す	版に表す	立体に表す	デザインに表す
題材名	修学旅行メモリアル	心はずむとき 木版に表す	缶から飛び出す〇〇〇	思いを広げて 「自分の名前をアートにデザイン」
作品 活動				
	・心に残った修学旅行の思い出からイメージをふくらませ、自分のお気に入りの場所を描く。 ・表したいことに合う描画材料を選んで使う。	・「田植え」をテーマに、表したい動きを決め、画面の入れ方を考えて下絵を描く。 ・自分の表したいことが伝わるように、白黒のバランスを工夫して、彫刻刀の彫りの効果を考慮して表す。	・缶からこんな生き物が生まれたらという発想をもとに、粘土で飛び出す立体物をつくり、缶の周りにはその立体物を表すラベルを描いて貼る。	・名前の文字から文字を選び、組み合わせたい絵のイメージから構想を練る。 ・文字と絵がお互いに響き合うように、構図や配色を工夫する。
材料 用具	・デジタルカメラの写真(参考) ・筆 ・パンフレット ・墨 ・リーフレット ・カラーペン ・客ペン ・客ペン絵の具 ・絵の具 ・コンテ	・木版用版木 ・彫刻刀 ・インク ・ローラー ・鳥の子紙 ・バレン	・紙粘土 ・缶 ・紙 ・絵の具 ・筆 ・ニス ・ペン ・クーピー	・画用紙 ・絵の具 ・はさみ ・習字道具 ・色鉛筆 ・色紙 ・カラーペン ・のり ・コンテ
表現 技法	・描く ・コンテを粉にして使う(こする)	・彫る ・刷る	・粘土…ひねり出す・つける・伸ばす ・描く(ラベル) ・着色する ・接着する	・描く ・着色する ・接着する ・貼る

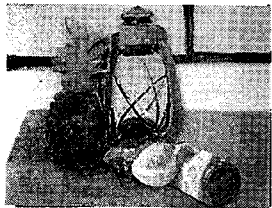

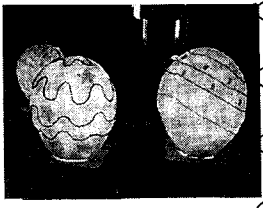
主な各学年の活動事例

学年	中学1年			
表現内容	絵	彫刻	デザイン	工芸
題材名	グループで静物画を描こう	ミックスペット	自己PRカードをつくろう	10年後の私たちの街
作品 概要				
	グループでモチーフを組み、茶封筒に英字新聞を貼り、墨汁で下描きして着色。	生物とあるものを組合せて新しい生物をつくる。写真はブタと消しゴムのミックス。	自分の名前1文字と好きなものを組み合わせさせてデザイン。新たな技法も習得。	空き箱などを利用し、自分の好きな建物をつくり、鑑賞会では学級で一つの街を構成。
材料	・茶封筒 ・英字新聞 ・割り箸	・フォルモ粘土 ・ニス	・画用紙 ・マスキングテープ ・ケント紙 ・トレーシングペーパー	・空き箱 ・ダンボール ・色画用紙 ・アクリル板 ・モデリングペースト ・針金 ・布 ・プラスチック類
用具	・客ペン ・墨汁 ・水彩絵の具	・彫刻刀 ・接着剤 ・粘土ベラ ・ポスターカラー ・紙ヤスリ	・アクリルガッシュ ・面相筆 ・平筆 ・金網 ・ぼかし刷毛 ・ストロー	・接着剤 ・色鉛筆 ・定規 ・はさみ ・ペンチ ・絵の具 ・カッターナイフ
表現 技法	・切る ・もぎる ・貼る ・着色する ・削る ・写す ・描く	・練る ・描く ・つける ・着色する ・彫る ・削る	・グラデーション ・スパッタリング ・ドリップング ・レタリング ・トレース	・切る ・組み立てる ・貼る ・着色する ・描く ・接着する

主な各学年の活動事例

学年		中学 2 年			
表現内容		絵	彫刻	デザイン	工芸
題材名		空想画を描こう	なりきり! 私はスイーツデザイナー	正方形から生まれる不思議な世界	Egg ART
作品・概要		 <p>マーブリングを一部に取り入れ、空想の世界を描写。</p>	 <p>自分の考えたオリジナル・スイーツを軽量粘土でつくる。全体と断面の両方を制作。</p>	 <p>正方形の黒い画用紙をイメージに合わせて切る。切ったパーツを画面上に構成して貼付。</p>	 <p>卵の殻に着色したり装飾を施したりしてデザインする。殻の底には重りが入れている。</p>
素材体験	材料	・画用紙 ・ケント紙	・軽量粘土 ・ペーパーナフキン	・黒画用紙 ・英字新聞など ・トータルカラー ・台紙	・卵 ・針金 ・粘土(重り) ・ビーズ ・スパンコールなど
	用具	・アクリル絵の具 ・カッターナイフ ・マーブリングセット ・のり	・アクリルガッシュ ・ニス(ツヤ出し・ツヤ消し) ・おろし金・絞り袋・ヘラ ・カッターナイフ	・デザインナイフ ・カッターナイフ ・のり ・マスキングテープ	・ピンセット ・デザインナイフ ・接着剤 ・アクリル絵の具
	表現技法	・描く ・切る ・貼る ・着色する	・練る ・着色する ・成型する ・混ぜる ・切る	・切る ・貼る ・展開する ・とばす	・空ける ・塞ぐ ・貼る ・着色する

主な各学年の活動事例

学年		中学 3 年			
表現内容		絵	彫刻	デザイン	工芸
題材名		ダンボール・アート	レリーフをつくろう	積層型デザイン	バルーン・ランプ
作品・概要		 <p>ダンボールを何層にも重ねて立体的に。グループでモチーフを組み、下描き・着色。</p>	 <p>自分の好きなモチーフをレリーフとして粘土で制作。</p>	 <p>アイデアに合わせて厚紙を何層にも積み重ねてデザイン。</p>	 <p>風船の型の張子を元にデザインを施し、ランプシェードとして制作。</p>
素材体験	材料	・ダンボール ・茶封筒 ・画用紙 ・トレーシングペーパー	・フォルモ粘土 ・プラアート額	・厚紙 ・色画用紙	・和紙 ・麻紐 ・障子のり ・針金 ・落し風船 ・ビーズなど ・ランプセット
	用具	・カッターナイフ ・接着剤 ・デザインナイフ ・水彩絵の具 ・マスキングテープ	・彫刻刀 ・接着剤 ・粘土ペラ ・紙ヤスリ ・アクリル絵の具	・カッターナイフ ・デザインナイフ ・のり ・接着剤 ・はさみ ・定規 ・マスキングテープ ・各種絵の具	・刷毛 ・カッターナイフ ・ペンチ ・接着剤 ・はさみ ・ドライバー
	表現技法	・切る ・写す ・貼る ・描く ・着色する	・練る ・描く ・つける ・着色する ・彫る ・削る	・切る ・写す ・貼る ・描く ・着色する	・貼る ・接着する ・透かす ・組み立てる

総合的な学習の時間

題材配列一覧作成上の基本方針

- 7年間を通して、児童・生徒が各教科で身につけてきた知識や学習方法などを駆使しながら課題解決に関わっていくことができるよう、各学年における大まかな単元内容を配置する。
- 初等部後期の段階から、「発想する→企画する→行動する（見る・読む・話す・聞く・歩く・働く）→探求する→まとめる→発表する（話す・聞く）→ふり返る（話し合う・反省する）→考える（考察する）」という学びのサイクルを、それぞれの体験活動の中に取り入れ、7年間を通して積み上げる。
- 小学校においては、さまざまな領域の体験を積むことを大切にする。中学校では、それらの体験を生かしていく。小学6年生で取り組む文化創造体験は、中学3年生での社会貢献体験に大きく生かせる活動であることから、新たにここに位置づけることにする。
- 小学校では、これまで取り組んできたテーマタイムの内容をある程度絞り（3年生は自然体験、4年生は文化理解・創造体験、5年生は社会生活体験、6年生は文化創造体験）、各学年部で取り組む単元を決める。それ以外の内容についてはフリータイムを活用し、各担任の裁量で計画・実施する。
- 中学校では、これまで取り組んできた Bridge, Information, Communication を柱として単元を配列する。
- 小学校・中学校の交流活動については、逆転現象の起きにくい学年同士ということを考慮し、中学1年生と小学4年生との交流を新たに設置した。中学3年生と小学6年生については継続して取り組みながら、双方にとって有意義な活動を模索していく。
- 小学校のテーマタイム、中学校の Bridge を中心に、子どもたちの学びの足跡をポートフォリオなどの形で集積していく。7年間を通して、どのような体験・学習をしてきたのかを子ども自身に見える形にする。

学校区分	小・中における 題材配列一覧				
小学校 〈ねらい〉 子どもが自分の思いや願いを明確にもち、主体的に追求する活動を通して、追求の仕方を身につけ、対象に対する見方・考え方を深めるとともに、自らの学びのよさを見い出すことができるようにする。	学年	テーマタイム		フリータイム	英語活動 英語活動の具体的な内容に関しては別紙参照
	第3学年	自然体験	◎自然博物館をつくろう ◎昆虫調査隊 など	社会体験（ともに生きていくことをめざした活動） ・ようこそ附小へ～車いすで生活するUさん～	
	第4学年	文化理解体験	◎松江の名物～お茶を探ろう～ ◎伝統芸能に挑戦！◎◎名人 ◎一緒にやろうニュースポーツ など	・みんなのスポーツ～この人とこんなスポーツを～ ・今、私たちにできること～みつげよう 人のやさしさを～ など	
	第5学年	社会生活体験	◎ふるさと松江再発見 ◎今わたしたちにできること～ごみ再利用への挑戦～ など	文化理解（主として異文化） ・「アンニョンハセヨ」釜山の友だち ・世界に広げよう友だちの輪 など	
	第6学年	文化創造体験	◎附小のみんなが楽しめる全校活動「子どものお店」をつくろう など		

学校区分		小・中における 題材配列一覧	
中学校 〈ねらい〉 学校で学んだ事項を体験的活動で確かめたり、広めたりしようとする態度を育てる。 体験的活動で得たものを生徒一人ひとりが見つめ直して、ものの見方や考え方を広げたり深めたりできるようにする。	学年	Bridge・Infomation	Communication
	中学1年生	さまざまな人の生き方を学ぶ ○小学校の時どんなことをやっていたの？ ・友だちと小学4年生に自分たちの経験した総合的な学習を紹介しよう ○福祉・国際理解体験 ・福祉・国際理解に取り組む人と接して話を聞いて課題を見つけ、新聞を作成しよう。 ・実際に体験してみよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の気持ちのコントロールの仕方を知る・前向きに生きよう </div>
	中学2年生	自分の生き方を学ぶ ○さまざまな人の生き方を知り、広げよう・深めよう！ ・地域の方の講演を聞き、興味や関心のあることを調べまとめる。 ○実際の社会へ出かけよう ・職場体験 ・中学1年生に自分たちの活動を紹介しよう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 人と自分を大切にしたい友だちとの関わり方を知る </div>
中学3年生	他とともに生きる生き方を学ぶ ・地域の方の話を聞き、自分のできることは何か考える。 ・自分たちの課題や願いをプレゼンしよう ・社会貢献体験 ・中学2年生&小学6年生に自分たちの活動を紹介しよう	修学旅行へ行こう	

・小学4年生と中学1年生の交流活動を設定するのは、2年後の小学6年生と中学3年生との交流の組み合わせのことも考慮している。中学1年生の中には公立から入学している生徒もいるので、この時期にお互いのことを知ることができることに意味を見いだしている。

・それぞれの校種で使っている用語については、今後整理をしていく。